

第59回

通常総代会 議案書

と き：2021年5月26日(水) 17:00～(受付16:30～)

と ころ：富山大学五福キャンパス 学生会館ホール

目次

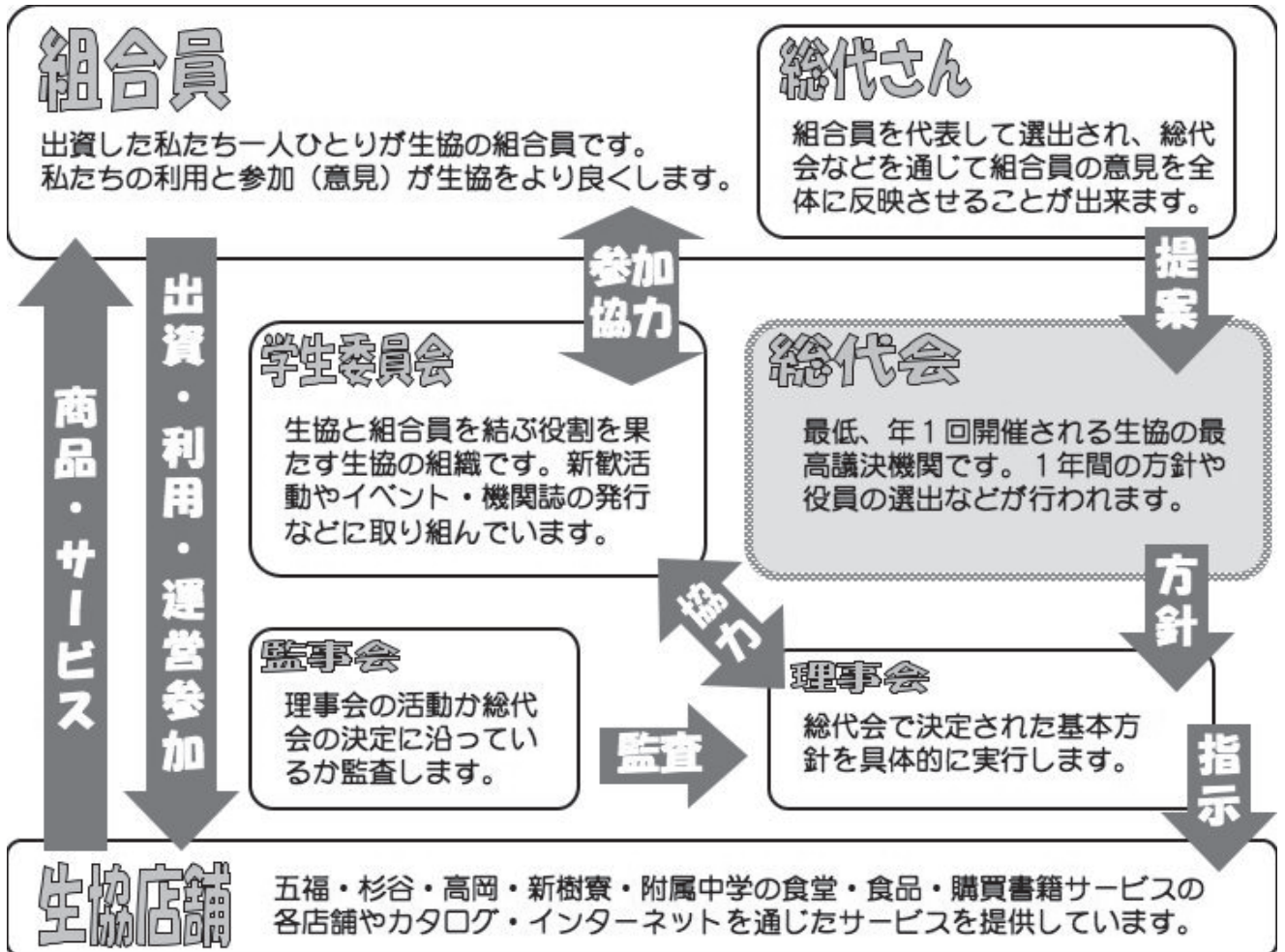
1	第 1 号議案	2020年度活動報告・事業報告書・ 決算関係書類等承認の件
42	第 2 号議案	2021年度事業計画及び予算決定の件
48	第 3 号議案	定款一部改正の件
49	第 4 号議案	役員報酬決定の件
50	第 5 号議案	2021年度役員選出の件



総代会って何？

一言でいうと生協の最高決議機関です。株式会社でいう「株主総会」に当たり、この一年間何をしてきたか、これからの一年間何をするのかを報告し、これからの方針などを考える機会です。

生協の仕組み



第1号議案

2020年度活動報告・事業報告書・決算関係書類承認の件

2020年度事業報告書

2020年3月1日から2021年2月28日まで

作成 2021年4月14日
備付 2021年4月23日

富山県五福3190
富山大学生生活協同組合
理事長 横畑 泰志

I 組合の事業活動の概況に関する事項

1 事業年度の末日における重要な事業活動の内容

事業種目	主な事業品目等
供給及び	物品供給 書籍、文具、教育機器、衣料品、電気製品、その他組合員の日常生活に必要な物資の供給
利用事業	サービス提供 組合員に食事を提供する事業 国内・海外旅行等の旅行業務を取り扱う事業 マンション、下宿の斡旋及び管理する事業 その他日常生活に必要なサービスを提供する事業
その他	組合員のための生命共済、火災共済の業務受託事業

2 事業の経過及びその成果ならびに対処すべき重要な課題

1 事業の経過及びその成果

(1) 事業方針

2020年度総代会で方針として掲げた事項は以下の通りです。

- ①大学の変化に対応し、組合員への参加を強め、組合員のニーズにマッチした商品・メニュー・サービスの提供を引き続き強化。
 - 生協共済の加入の促進。利用につながるミール・テキストチャージホルダーを増加。
 - 「毎日利用していただく」を意識しながら今までのやり方にこだわらない、組合員が利用していて楽しいと感じ、組合員の実態・実情・生活に寄り添った変化に富んだ店舗運営を行う。
- ②効率的な運営を引き続き追及し、単年度黒字を実現させ、累積赤字解消を早期に実現するための基盤整備・足掛かりとする。
- ③IC組合員証・職員証を武器としたIC利用の強化。
- ④広報宣伝の強化。
- ⑤大学との関係強化。
- ⑥環境対策。
- ⑦組織継続のための人材育成を強化と生協職員の安全な労働環境の実現を目指します。

(2) 経済及び事業環境

1) 経済・社会の状況

- ・日本国内で2020年3月から新型コロナウイルス感染症の流行が拡大し、4月7日より首都圏を中心に7都府県で緊急事態宣言が発出、そして16日には全国に拡大し、解除まで経済活動に大きな負のダメージを与えました。その後感染状況が落ち着きましたが7～8月に開催予定の東京オリンピック・パラリンピックが1年延期、政府の経済対策としてGO TOトラベルやGO TOイートなどを行うも、年末に再び感染が流行し、年明け1月8日から2月7日まで(3月21日まで延長)緊急事態宣言が発出されました。日本経済は再び厳しい状況となりました。
- ・2020年度の国内総生産(GDP)は新型コロナウイルス感染症の影響で、通年での成長率はマイナス4.8%となり、2009年依頼11年ぶりにマイナスに転じました。

2) 大学をめぐる状況

- ・全国及び富山県内で感染が拡がり始めた3月中旬から、富山大学でも卒業式や入学式等の学内イベントの中止、新入生向けのオリエンテーションなどの縮小・中止が相次ぎました。
- ・授業開始も当初より2週間遅れとなり、しかも4/16に緊急事態宣言が全国に拡大されたことを受けて全面オンライン授業となりました。
- ・6月から原則対面授業、7月からは課外活動の再開の方向性になりましたが、前期は実質的にはオンライン授業が主体となりました。
- ・10月からの後期以降は原則対面授業となり、全体で90%以上の授業が対面となりました。しかし学部によってはオンラインとの併用率に違いがあり、キャンパスによって学内人口に差が出ました。このような対面とオンラインのハイブリッド型の授業形態は、割合の大小問わず今後も継続すると思われます。
- ・学生生活実態調査(2020年度)によれば、新型コロナの影響から富山大生の収入は前年より減少しています。特にアルバイト収入が前年より10,000円程度減少しています。収入減少により支出も控える傾向となっており、貯金額が前年より増加しています。コロナ禍で入学した1年生は、アルバイトをしていない割合が40%を超えており、またサークルに未加入で今後加入したい割合が前年より10%以上増加するなど、収入面に加えて社会や大学内でのリアルなつながり作りにも影響が出ていると思われます。
- ・コロナ禍での学生への支援活動も拡がりました。
- ・ハラル対応としての外部業者によるキッチンカーのトライアル営業がなされました。

(3) 事業の状況

- 新型コロナウイルス感染症による様々な環境の変化は、生協の経営に大打撃となりました。20年度開始より学内行事の中止や延期等で事業に影響が出始め、授業開講の延期と緊急事態宣言等による原則オンライン授業でまさにキャンパスに人がいない状況となり、食堂・食品といった日常利用が大きく減少しました。後期(10月)以降、原則対面授業となり全体で90%以上が対面授業となりましたが、オンライン授業は大講義中心に継続して行われ、また学部により対面とオンラインの割合が違うことで店舗の客数に影響しました。
- 生協全体としては、後期以降は客数・供給とも対前年約75～80%前後まで回復しましたが、11月のクラスター発生や1月の豪雪などによる休講措置など日常利用の不安定さが影響し、結果として11億5,084万円の供給高となり、対前年で約4億5,600万円減と大きく落ち込みました。客数も92万人と前年の約半分となりました。
- この経営状況に対して、理事会では、前例のない危機と強く認識し、上半期の経営予測に基づき、「経営改善計画」を策定し、3つの基本方針として①学生・教職員・生協職員の健康と安全を守る。②富山大学の福利厚生を支える組織として事業を中断することなくサービス・商品・食事を提供することに責任を持つ。③生協が将来存続できないような経営悪化を防ぐ。を掲げて、最重要の経営課題を「経営存続と債務超過の回避」とし、単年度赤字4,000万以下にするべく供給対策・経費対策を実施しました。結果として単年度赤字とはなりませんが、税引き後当期剰余で△3,066万円と赤字を目標値より抑えることができました。
- 組合員に対しても富山大学生協から加入促進や利用結集などをお願いした4つのお願い文章を発信しました。一部の大学職員や教職員の方々から生協加入や公費の注文がありました。また生協に対して励ましの言葉をいただきました。
- 大変厳しい経営でしたが、コロナ禍の学生・教職員の大学生活のために「今すべきこと」「今だからすべきこと」を実践しました。
 - ①生協施設内で感染者を出さないを信念に、新型コロナウイルス感染対策を大学と協力しながら徹底しました。
 - ②教科書販売ではコロナ禍の大学の状況を踏まえて前期は宅配対応に、後期は分散利用での対面販売を実施しました。
 - ③オンラインを活用したサービスを実施しました。
 - ④工学部・都市デザインキャンパスでの夕食対応としての温かい弁当の販売をしました。
 - ⑤AZAMIの改善タスクを立ち上げ、コンセプトの見直しと、その第1弾として地域交流を目的に市内の洋菓子店のケーキを仕入れて販売しました。
 - ⑥大雪による食堂でのカレー出食やショップでのフルーツ販売をしました。
- 大学との連携強化を図りました。新型コロナウイルス感染対策での連携はもちろん、生協の経営状況や大学の状況の情報共有を強化し連携しました。

(4) 業績

1) 組合員数及び出資金

組合員数は、9,130人となり369人減少となりました。
出資金は、294,500円増加し173,236,000円となりました。

2) 供給事業

■全体の供給状況

- ・供給高は11億5,084万円(対予算△3億8,345万円、対前年△4億5,617万円)となりました。
- ・大幅な減少の要因は新型コロナウイルス感染症の影響による日常利用、特に食堂や食品の利用の大幅減が要因です。
- ・食堂、食品といった日常利用の減少は、客数の大幅減にもつながり、年間客数は921,473人と前年の約半分(△914,561人)となりました。

■セグメントごとの供給状況

①購買(物品)部門

- ・購買(物品)部門は5億2,050万円の供給で、対前年比△25.3%対、予算比△14.8%と大幅に減少しました。減少の要因は新型コロナウイルスによる休講措置やオンライン授業等による学内人口減少に伴う食品、文具、日用雑貨などの日常利用が大幅に落ち込んだことです。一方公費需要は好調で、公費受注の主分類である情報機器、PCソフト、AV家具家電分類は大きく伸長しました。
- ・組合員一人当たりの利用高は57,010円で前年より16,738円減少しました。

②書籍部門

- ・書籍部門は1億9,113万円の供給で、対前年△4.5%、対予算△5.7%と減少しました。新型コロナウイルスの影響は受けたものの、公費需要の好調や、宅配・分散利用対応による教科書販売や公務員講座が計画並みに推移したことが要因です。一方で新型コロナウイルス感染症による影響による学内人口の減少による申込の減少や資格試験の中止や延期により、資格検定分野は大きく減少しました。
- ・組合員一人当たりの利用高は20,934円で前年より133円減少しました。

③食堂部門

- ・食堂部門は1億6,537万円の供給で、対前年△54.9%、対予算△55.0%と大幅に減少しました。減少の要因は購買部門同様、新型コロナウイルスによる休講措置やオンライン授業等による学内人口の減少に伴う食堂利用の大幅減少です。
- ・組合員一人当たりの利用高は18,112円で、前年より20,476円減少しました。

④旅行サービス部門

- ・旅行サービス部門は2億7,345万円の供給で、対前年△20.3%、対予算△22.6%と大幅に減少しました。全体的に落ち込みましたが、特に旅行分野が新型コロナウイルスの影響で大幅に減少し、対前年約90%減となりました。

3) その他の事業

学生同士のたすけあい制度である学生総合共済は、新入生への案内を早期に行い、未加入者DM等を計画的に実施しましたが、新型コロナ等による新入生サポートセンターの来場者の減少や、生協オリエンテーションなどの対面で共済を推進できる場面の減少・縮小により、新入生の共済加入率は65.5%と2.8%減少しました。

4) 事業経費

■事業経費全体

・供給・供給剰余が大きく落ち込んでいることを受けて、経営改善計画に基づいて事業経費の削減を実施し、対前年△14.9%、対予算△16.3%と削減しました。

■人件費

・人件費は経営改善計画に基づき、客数減を想定した稼働計画の見直しによる投下の絞り込み、パート職員への休業要請、役員報酬・正規職員賞与の減額などを実施し、年累計2億558万円に対前年△14.0%、対予算△18.3%となりました。休業補償分を考慮すると対前年で22%程度削減できました。

■物件費

・物件費は1億8,681万円となり、対前年△14.9%、対予算△14.0%となりました。大口備品購入の見直しと執行停止、オンライン会議などによる出張費の減少、営業の効率化・時短による水光熱費の減少など実施しました。一方で老朽化による冷凍什器の備品購入やコロナ感染対策のための備品購入、広報宣伝の強化の目的でホームページの改修などの経費執行もあり、改善計画での削減目標よりは減少できませんでした。

5) 事業外損益

事業外収益は35,872,684円で、雇用調整助成金・緊急雇用安定助成金や、キャッシュレス還元補助、組合員証再発行手数料などによります。

事業外費用は9,012,341円で、支払利息や、出資金整理後返還金、キャッシュレス還元ポイントなどによります。

6) 特別損益

特別利益は27,139,396円で、持続化給付金などのコロナによる行政からの補助金収入や、事業連合や共済連からの支援金、給与過払い事故の事業連合からの弁済、卒業後組合員出資金の整理益を計上しています。

特別損失は80,500円で、器具備品などの固定資産除却損を計上しています。

7) 当期損失金

税引き前当期損失金は、29,885,495円となりました。

法人税等を引いた当期損失金は30,661,995円となりました。

期首繰越損失金が110,357,656円でしたので、当期末処理損失金は141,019,651円となりました。

2 対処すべき重要な課題

(1) 事業の展望と課題

20年度の単年度赤字により、累積赤字が増加しその解消に向けてしっかりと足掛かりを作っていくことが急務となります。

21年度も新型コロナウイルス感染の影響が一定残ることが考えられ、しかも行政などの補助金も20年度同様は見込まれないことから、厳しい生協経営となります。と同時に生協の存在価値が改めて問われていると強く意識する必要があります。

今一度組合員の声やコロナ禍での新しい生活から生まれる要望をしっかりと組み込み、現状の経営状態を生協全体で正しく理解し、コロナ禍による行動様式の変容、大学教育・運営の変容を見極めた事業活動の適正化と拡大を進め、単年度で黒字化を目指します。

(1) 直前3事業年度の財産及び損益の状況

単位:円

項目	2017年度	2018年度	2019年度	本年度
組合員数	9,450	9,586	9,499	9,130
出資金額	168,921,000	171,157,000	172,941,500	173,236,000
供給高	1,591,002,282	1,650,383,345	1,607,005,171	1,150,838,011
その他事業収入	43,743,278	42,523,282	41,726,677	43,177,512
経常剰余金	△ 119,470,628	△ 7,822,035	14,711,662	△ 56,944,391
総資産	493,866,905	503,396,891	539,306,777	510,520,899
純資産	49,546,663	44,770,834	62,583,844	32,216,349

(2) 供給事業の状況表

1) 部門別・業態別供給高の状況

単位:円

項目	2017年度	2018年度	2019年度	本年度
[部門別供給高]				
物品	686,628,809	692,264,141	696,473,554	520,502,768
書籍	210,336,073	201,371,032	200,110,702	191,126,688
食堂	317,381,861	368,280,356	366,533,261	165,366,586
旅行サービス	375,855,095	387,670,177	343,125,523	273,450,851
その他	800,444	797,639	762,131	391,118
合計	1,591,002,282	1,650,383,345	1,607,005,171	1,150,838,011
[業態別供給高]				
店舗	1,577,109,502	1,639,380,125	1,597,940,841	1,150,838,011
カタログ	13,892,780	11,003,220	9,064,330	0
合計	1,591,002,282	1,650,383,345	1,607,005,171	1,150,838,011

「業態別供給高」のカタログ供給は店舗を通過しない供給です

2) 供給高の事業所別内訳

単位:円

店舗名	2017年度	2018年度	2019年度	本年度
本店食堂	190,430,151	184,112,929	181,050,013	72,284,667
工学部食堂	22,512,587	80,754,370	87,867,042	36,228,900
杉谷食堂	78,067,600	76,830,045	75,931,238	46,470,604
高岡食堂	16,091,345	13,995,186	13,292,298	6,529,234
附属食堂	2,236,821	3,130,498	2,492,578	1,795,249
正門喫茶	14,602,962	15,807,312	14,449,054	3,785,339
本店購買	805,534,963	870,568,665	833,704,986	738,953,820
学館食品	152,439,000	153,146,616	145,124,216	72,911,697
工学購買	120,274,426	98,405,849	96,550,443	77,163,476
杉谷購買	119,339,888	88,143,246	90,348,363	71,944,862
高岡購買	33,983,028	27,904,082	29,695,617	22,770,163
自動販売機	35,489,511	37,584,547	36,499,323	0
合計	1,591,002,282	1,650,383,345	1,607,005,171	1,150,838,011

(3) 受託共済事業状況表

1) 加入者数の状況

単位: 件

共済事業の種類		加入者数		
元受団体名	コース等	本年度	前年度	前年比
学生総合共済 (生命共済)	A型	1,480	2,225	△ 33.5
	B型	3,737	2,902	28.8
	M型	1	1	0.0
	U型	1	1	0.0
	小計	5,219	5,129	1.8
学生総合共済 (火災共済)	KW型	1,581	2,454	△ 35.6
	小計	1,581	2,454	△ 35.6
合計		6,800	7,583	△ 10.3

(注)2021年2月28日現在

2) 元受団体共済掛金及び共済金支払の状況

単位:円

共済事業の種類		元受団体共済掛金			共済金支払件数			共済金支払金額		
元受団体名		本年度	前年度	前年比	本年度	前年度	前年比	本年度	前年度	前年比
生命共済	大学生協共済連	72,057,450	70,822,660	101.7	155	242	64.0	25,884,000	18,182,000	142.4
火災共済	大学生協共済連	3,180,650	4,932,650	64.5	2	2	100.0	30,778	118,076	26.1
合計		75,238,100	75,755,310	99.3	157	244	64.3	25,914,778	18,300,076	141.6

3 増資及び資金の借入その他の資金調達状況

該当する事項はありません

4 組合が所有する施設の建設又は改修その他の設備投資状況

該当する事項はありません

5 他の法人との業務上の提携

他の法人との業務上の提携

業務提携先	所在地	提携内容
大学生協事業連合	東京都杉並区和田3-30-22	業務委託

6 他の会社を子法人等及び関連法人等とすることとなる場合における当該他の会社の株式又は持分の取得

新規出資子法人及び関連法人等

該当する事項はありません

7 事業の全部又は一部の譲渡又は譲受け、合併その他の組織の再編成

該当する事項はありません

8 教育事業等の状況

単位:円

項 目		金 額
当期に繰り越された教育事業等繰越金		0
教育事業等の使途		
科 目	内 容	金 額
教育文化費	学生委員会活動費	64,735
	組合員向け企画費用	321,977
	セミナー参加費	98,182
広報費	加入案内などの宣伝物	2,358,719
研修採用費	役職員研修・通信教育	94,138
合 計		2,937,751

Ⅱ 組合の運営組織の状況に関する事項

1 前事業年度における総代会の開催状況

総代会開催日	2020年6月17日	
総代会日現在総代数		160名
出席総代数	本人 代理人(委任) 書面	10名 0名 137名
合計		147名
(重要な議事、議決事項および議決状況)		
第1号議案	2019年度活動報告・事業報告書・決算関係書類等承認の件	承認可決
第2号議案	2020年度事業計画及び予算決定の件	承認可決
第3号議案	定款一部改正の件	承認可決
第4号議案	役員選挙規約一部改正の件	承認可決
第5号議案	役員報酬決定の件	承認可決
第6号議案	2020年度役員選出の件	全員信任

(注)総代選挙は、総代選挙規約にもとづいておこなわれ、180人の定数に対して160人が立候補し、選挙の結果 2020年5月30日当選人が公告されました。

2 組合員に関する事項

(1) 組合員出資金増減表

単位:円

区 分	組合員数	口数	組合員出資金総額	一人当組合員出資金額
期首現在	9,499	345,883	172,941,500	18,206
当期増加分(学生・院生)	1,811	71,488	35,744,000	19,737
当期増加分(教職員その他)	197	3,178	1,589,000	8,066
当期減少分(学生・院生)	2,099	70,852	35,426,000	16,878
当期減少分(教職員その他)	278	3,225	1,612,500	5,800
期末現在	9,130	346,472	173,236,000	18,974

(2) 階層別組合員概況表

単位:円

区 分	組合員数	口数	組合員出資金総額	一人当組合員出資金額
五福地区 学生・院生	5,990	236,255	118,127,500	19,721
杉谷地区 学生・院生	1,565	60,636	30,318,000	19,373
高岡地区 学生・院生	507	19,944	9,972,000	19,669
五艘地区 学生	568	5,680	2,840,000	5,000
教職員・その他 教職員・その他	500	23,957	11,978,500	23,957
合計 学生・院生	8,630	322,515	161,257,500	18,686
教職員・その他	500	23,957	11,978,500	23,957

3 役員に関する事項

(1) 役員一覧表

役 名	氏 名	担 当	就 任 年 月 日	略 歴 等
理 事 長 (代表理事)	横畑 泰志	学生委員長	2002年5月21日	2009年5月より理事長 学術研究部 理学系教授
副 理 事 長	徳橋 曜		2009年5月27日	2010年5月より副理事長 学術研究部 教育学系教授
”	唐原 一郎		2014年5月28日	2018年5月より副理事長 学術研究部 理学系教授
専 務 理 事 (代表理事)	松本 明男		2019年5月22日	2019年5月より専務理事 富山県生協連合会 副会長理事 富山県立大学生協同組合理事 富山高等専門学校生協理事 全国大学生協連合会 監事
常 務 理 事	稗田 護		2020年6月17日	2020年6月より常任理事 経済学部学生
理 事	鈴木 景二		2009年5月27日	学術研究部 人文学部系教授
”	矢島 桂		2019年5月22日	学術研究部 社会科学系准教授
”	春木 孝之		2011年5月25日	学術研究部 都市デザイン学系准教授
”	橋爪 隆		2010年5月26日	学術研究部 教育研究推進系准教授
”	増田 健一		2018年5月23日	学術研究部 工学系講師
”	梅村 俊彰		2019年5月22日	学術研究部 医学系准教授
”	横山 寛明		2020年6月17日	理学部学生
”	石川 雄大		2019年5月22日	理学部学生
”	坂井 克光		2020年6月17日	理学部学生
”	坂口 裕基		2020年6月17日	工学部学生
”	田中 亜希		2020年6月17日	工学部学生
”	中木 海斗		2020年6月17日	経済学部学生
”	永谷 玲菜		2020年6月17日	人間発達科学部学生
”	丸橋 直生		2020年6月17日	理学部学生
”	森岡 朋紀		2020年6月17日	工学部学生
”	蜂矢 喜紀	2020年6月17日	理工学教育部院生	
監 事	森嶋 秀紀	2004年5月21日	学術研究部 社会科学系准教授	
”	林 衛	2011年5月25日	学術研究部 教育学系准教授	
”	神山 智美	2015年5月27日	学術研究部 社会科学系准教授	
”	多田 直人	2020年6月17日	人文学部学生	
”	中西 佑奈	2020年6月17日	工学部学生	

(2) 辞任した役員

該当者なし

4 職員数およびその増減その他の職員の状況

職員状況表

区 分		前 期 末 数	当 期 末 数	平 均 年 齢 、 平 均 勤 続 年 数
正規職員		7 名	7 名	42 歳 18.7 年
定時職員	時間数 (総数)	166,997 時間 (138 名)	102,195 時間 (126 名)	
	正規換算数	83 名	59 名	

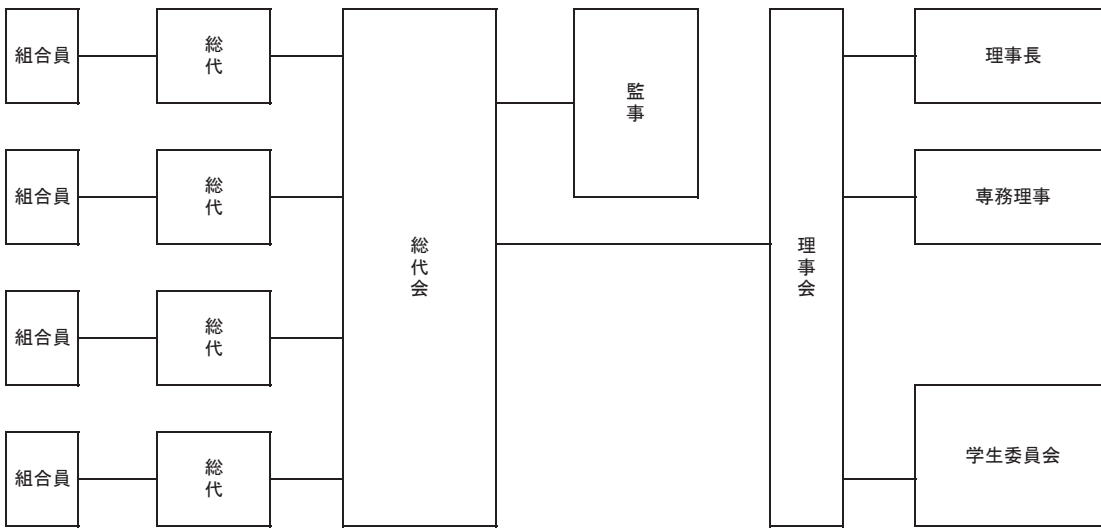
(注1) 定時職員の正規職員換算数は、年間2,000時間をもって1名と換算しています。

(注2) 上表には出向受入者1名を含んでいます。

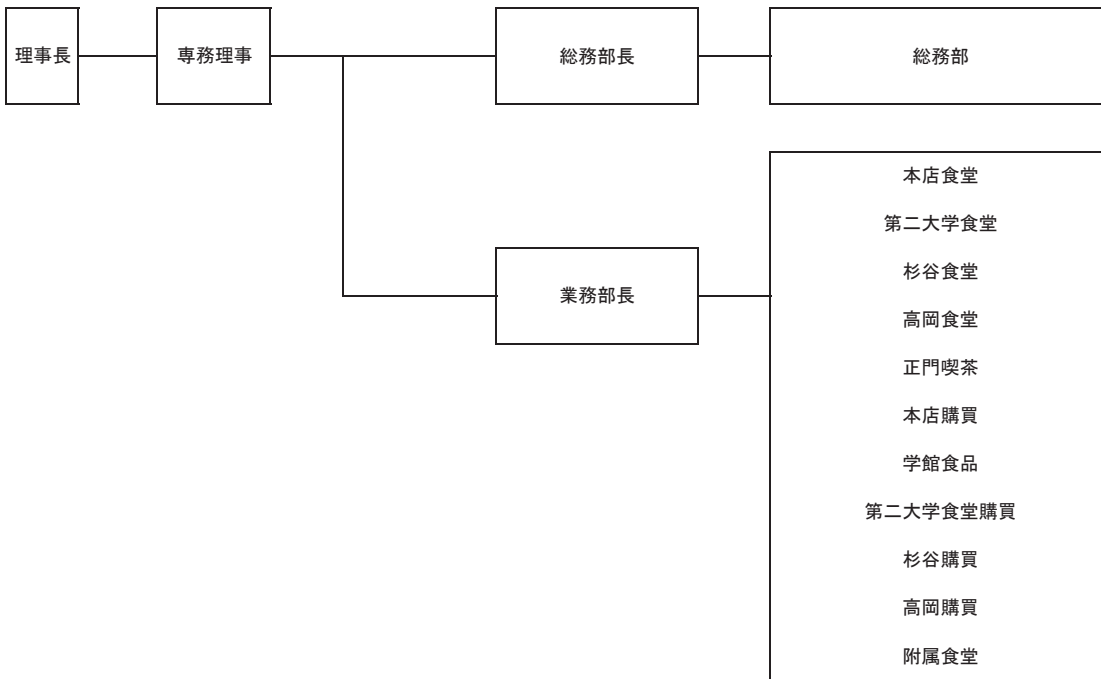
(注3) 上表には出向派遣者1名を含みません。

5 業務の運営の組織に関する事項

(1) 運営組織図



(2) 経営組織図



6 施設の設置状況に関する事項

施設一覧表

施設名		所在地	土地 (㎡)	建物(㎡)		摘要
				延床面積	店舗面積	
1.本店(五福)	本部総務 食堂店舗 購買書籍店舗	富山県富山市 五福3190			43	借用
					543	
					238	
2.学生会館	食品店舗				146	借用
3.学生支援・地域 連携プラザ	喫茶店舗				232	借用
4.工学部店	食堂店舗 購買食品書籍店舗				259 92	借用
5.杉谷店	食堂店舗 購買食品店舗	富山県富山市 杉谷2630			466 105	借用
6.高岡店	食堂店舗 購買書籍店舗	富山県高岡市 二上町180			149 40	借用
7.附属中学校店	食堂店舗	富山県富山市 五艘1300			154	借用

7 子法人等および関連法人等の状況に関する事項

(1) 子法人等及び関連法人等の概要

区分		関連法人等	
会社名		一般社団法人 富山大学出版会	
代表者名		理事長 北島 勲	
設立年月日		2002年1月15日	
事業内容		(1) 学術図書及び教養図書(研究成果の普及を目的とするものに限る)の刊行頒布	
		(2) 学術研究、学術著作及びこれらを海外に紹介するための援助	
		(3) 内外学術資料の蒐集・保存・情報化及びその利用の促進に対する援助	
		(4) 学術講演会、研究成果発表会、展覧会、市民大学講座等の開催	
		(5) その他前条の目的を達成するために必要な事業	
設立の理由		学術図書の刊行頒布を主たる事業とし、富山大学及び北陸地方の研究機関における研究とその成果の発表の助成、内外学術資料の蒐集、学術国際協力、大学の社会開放等の諸事業を行い、もって北陸地方を始めとする我国の学術・文化の振興に寄与することを目的とする。	
資本金	資本金	3,000,000円	
	生協の出資額	1,970,000円	
株式(出資)の状況	基金総額	3,000,000円	
	生協出資基金	1,970,000円	
	生協出資比率	65.7%	
決算月日		3月末日	
主たる事業所の所在地		富山県富山市	
株主(出資者)名		富山大学生協・能登印刷・梧桐書院・小助川貞次(人文学部教員)・徳橋曜(人間発達科学部教員)	
当生協の関係役員	理事 横畑泰志	非常勤	無給
	理事 松本明男	非常勤	無給

(2) 子法人等及び関連法人等の決算概要

決算 2020年3月31日

単位：円

資産・負債・純資産の状況

区分	関連法人等
会社名	富山大学出版会
科目・決算期	3月末
流動資産	10,923,921
資産合計	10,923,921
流動負債	9,440,078
固定負債	2,995,000
負債合計	12,435,078
正味財産合計	△1,511,157
負債及び正味財産合計	10,923,921

損益の状況

科目 決算期	3月末
経常収益	5,618,814
経常費用	4,499,364
当期計上増減額	1,119,450
税引前正味財産増減額	1,119,466
当期一般正味財産増減額	790,666
正味財産期末残高	△1,511,157

8 事業連合に関する事項

(1) 事業連合の概要

区分	関連法人等
会社名	生活協同組合連合会大学生協事業連合
所在地	東京都杉並区和田3-30-22
代表者氏名	理事長 井内 善臣
設立年月日	1969年10月1日創立、同年12月19日都知事認可
事業内容	(1) 会員の事業に必要な物資を購入し、これに加工もしくは加工しないで、又は生産して会員に供給する事業 (2) 会員の組合員の生活に有用な協同施設を設置し、会員及び会員の組合員に利用させる事業 (3) 会員の組合員の生活の改善及び文化の向上を図るために必要な行事等の企画及び実施又はこれらに関連する情報を提供する事業 (4) 会員、会員の組合員及び役員並びにこの会の役員員の組合事業に関する知識の向上を図るために必要な教育を行い、及び情報を提供する事業 (5) 会員の組合員のための宅地建物取引業法に基づく宅地建物取引業に関する事業 (6) 会員の組合員のための旅行業法に基づく旅行業に関する事業 (7) 会員の組合員のための古物営業法に基づく古物営業に関する事業 (8) 会員の利用に供する計算、運搬に関する事業 (9) 会員の事業の支援、連絡並びに調整に関する事業 (10) 前各号の事業に附帯する事業
設立の理由	協同互助の精神に基づき、全国大学生生活協同組合連合会と提携し大学生生活協同組合の協同事業の中心として事業活動ならびに各種活動を行って会員事業の発展をはかり会員組合員の生活の経済的文化的向上をはかることを目的として設立されました。
出資金及び総口数	出資金 4,129,330 千円 総口数 412,933 口
当組合の出資額及び口数	出資金 41,870千円 総口数 4,187口
決算月日	2025年3月1日
主な出資生協	早稲田大学生生活協同組合 209,810千円 東京大学消費生活協同組合 187,180千円 立命館生活協同組合 185,720千円 慶應義塾生活協同組合 156,560千円 京都大学生生活協同組合 149,700千円 その他185大学生生活協同組合 3,240,360千円
当組合の関係役員	該当者なし

(2) 事業連合の決算概況

単位:千円

法 人 名		生活協同組合連合会大学生協事業連合	
科目\決算期		2021年2月28日 (54期)	
資産の部	流動資産		31,114,131
	固定資産		7,638,395
	資産合計		38,752,526
負債の部	流動負債		33,803,351
	固定負債		2,637,425
	負債合計		36,440,776
純資産の部	出資金		4,129,330
	剰余金		△ 1,817,580
	評価・換算差額等		—
	純資産合計		2,311,749
負債及び純資産合計			38,752,526

(注) 上記貸借対照表は、当事業報告書作成時点では大学生協事業連合は総会の議決を経ていませんので確定しておりませんが、事業連合代表理事から示された決算関係書類に基づいて記載しています。

(3) 事業連合の損益状況 (決算期:2021年2月28日)

単位:千円

科目\決算期間		損益の状況	
		2020年3月1日～2021年2月28日	
供給高			79,513,080
供給剰余金			574,624
事業剰余金			△ 291,309
経常剰余金			33,838
当期剰余金			△ 1,651,485
当期末処分剰余金			△ 1,817,580

(注) 上記損益計算書は、当事業報告書作成時点では大学生協事業連合は総会の議決を経ていませんので確定しておりませんが、事業連合代表理事から示された決算関係書類に基づいて記載しています。

(4) 事業連合との取引等の状況

単位:円

区 分	経常収益		経常費用		その他取引		
	供給高	その他	仕入高	その他	収 益	費 用	その他
大学生協事業連合	0	370	874,467,667	64,526,524	0	0	0
対取引高率 (%)			96.07				

9 その他組合の組織運営の状況に関する重要な事項

(1) 当組合の内部統制に関する基本方針(2011年12月理事会)

2011年12月の第7回理事会において「内部統制の整備に関する基本方針」を議決しました。

そこで掲げた項目は以下の通りです。

- 1 理事・委員及び職員の職務の執行が、法令・定款などに適合することを確保します。
- 2 理事・委員及び職員の職務執行に関わる情報の保存及び管理を適正に行ないます。
- 3 損失の危険の管理を行ないます。
- 4 財務報告を適性に作成します。
- 5 理事・委員及び職員の職務の執行が効率的に行なわれるようにします。
- 6 子会社などにおける業務の適正を確保します。
- 7 監事監査がいっそう有効に行なわれるための環境を整備します。

Ⅲ その他組合の状況に関する重要な事項

該当する事項はありません

2020年度事業報告書の附属明細書

2020年3月1日から2021年2月28日まで

作成 2021年4月14日
備付 2021年4月23日

富山県五福3190
富山大学生生活協同組合
理事長 横畑 泰志

1 役員報酬等の状況

(1) 役員報酬明細

区分	定款上の定員(人)	支給人員(人)	支給額(円)	摘要
理事	18人以上24人以内	21人	9,658,880	理事報酬の限度額:11,000,000円
監事	3人以上6人以内	5人	192,000	監事報酬の限度額:250,000円
合計		26人	9,850,880円	

(2) 役員退職金明細

区分	支払人員(人)	役員退職金支給額(円)
理事	0人	0
監事	0人	0
合計	0人	0円

2 役員と他の法人等の業務執行者兼務状況

区分	常勤・非常勤	代表権の有無	氏名	兼務先名	兼務先での役職名
理事	非常勤	有	横畑 泰志	富山大学出版会	理事
理事	常勤	有	松本 明男	富山大学出版会 富山県生協連合会 富山県立大学生生活協同組合 富山高等専門学校生活協同組合 全国大学生生活協同組合連合会	理事 副会長理事 常務理事 理事 監事

3 組合と役員との間の利益が相反する取引の明細

該当する事項はありません

4 事業連合に関する事項

事業連合に対する債権・債務明細表

①債権明細表

単位:円

区 分	短期債権			長期債権		
	期首残高	期末残高	当期増減額	期首残高	期末残高	当期増減額
大学生協事業連合	6,218,115	5,085,628	△ 1,132,487	0	0	0

②債務明細表

単位:円

区 分	短期債務			長期債務		
	期首残高	期末残高	当期増減額	期首残高	期末残高	当期増減額
大学生協事業連合	96,828,064	124,503,417	27,675,353	0	0	0

5 その他事業報告書の内容を補足する重要な事項

該当する事項はありません

2020年度 決算関係書類

2020年3月1日から2021年2月28日まで

作成 2021年4月14日

備付 2021年4月23日

富山県五福3190

富山大学生生活協同組合

理事長 横畑 泰志

1 貸借対照表

貸 借 対 照 表

(2021年2月28日現在)

単位:円

科 目	金 額	科 目	金 額
(資 産 の 部)		(負 債 の 部)	
流 動 資 産	405,464,765	流 動 負 債	439,550,656
現 金 預 金	252,226,139	買 掛 金	130,748,185
供 給 未 収 金	53,749,359	未 払 金	862,796
商 品 及 び 原 材 料	79,954,501	未 払 法 人 税 等	776,500
未 収 消 費 税 等	5,922,000	未 払 費 用	13,412,794
未 収 金	12,678,777	前 受 金	260,887,987
仮 払 金	1,513,989	預 り 金	30,372,994
貸 倒 引 当 金	△ 580,000	賞 与 引 当 金	2,489,400
固 定 資 産	105,056,134	固 定 負 債	38,753,894
有 形 固 定 資 産	22,357,773	退 職 給 付 引 当 金	38,235,403
建 物 及 び 附 属 設 備	66,542,924	役 員 退 職 給 与 引 当 金	518,491
減 価 償 却 累 計 額	△ 50,961,516		
構 築 物	462,963		
減 価 償 却 累 計 額	△ 370,044		
車 両 運 搬 具	10,822,232		
減 価 償 却 累 計 額	△ 10,367,912		
器 具 備 品	86,675,177		
減 価 償 却 累 計 額	△ 80,446,051		
無 形 固 定 資 産	827,834		
ソ フ ト ウ ェ ア	323,834		
電 話 加 入 権	504,000		
そ の 他 固 定 資 産	81,870,527		
関 係 団 体 等 出 資 金	53,958,000		
長 期 貸 付 金	6,000,000		
長 期 前 払 費 用	18,962,527		
差 入 保 証 金	2,950,000		
資 産 合 計	510,520,899	負 債 合 計	478,304,550
		(純 資 産 の 部)	
		組 合 員 資 本	32,216,349
		出 資 金	173,236,000
		損 失 金	141,019,651
		当 期 未 処 理 損 失 金	141,019,651
		(うち 当 期 欠 損 金)	(30,661,995)
		純 資 産 合 計	32,216,349
		負 債 ・ 純 資 産 合 計	510,520,899

2 損益計算書

損 益 計 算 書

自 2020年3月1日 至 2021年2月28日

単位:円

科 目	金 額	金 額
供 給 事 業		
供 給 高	1,150,838,011	
供 給 値 引	6,380,692	1,144,457,319
供 給 原 価		
期 首 商 品 棚 卸 高	48,734,077	
仕 入 高	910,263,854	
合 計	958,997,931	
期 末 商 品 棚 卸 高	79,954,501	879,043,430
供 給 剩 余 金		265,413,889
そ の 他 事 業 収 入		
共 済 受 託 手 数 料 収 入	9,722,803	
供 給 事 業 手 数 料 収 入	10,776,371	
そ の 他 手 数 料 収 入	22,678,338	43,177,512
事 業 総 剩 余 金		308,591,401
事 業 経 費		
人 件 費	205,583,845	
物 件 費	186,812,290	392,396,135
事 業 損 失 金		83,804,734
事 業 外 収 益		
受 取 利 息	9,916	
受 取 配 当 金	38,707	
雑 収 入	35,824,061	35,872,684
事 業 外 費 用		
支 払 利 息	1,150	
雑 損 失 金	9,011,191	9,012,341
経 常 損 失 金		56,944,391
特 別 利 益		
補 助 金 収 入	2,341,996	
そ の 他 特 別 利 益	24,797,400	27,139,396
特 別 損 失		
固 定 資 産 除 却 損	80,500	80,500
税 引 前 当 期 損 失 金		29,885,495
法 人 税 等		776,500
当 期 損 失 金		30,661,995
当 期 首 繰 越 損 失 金		110,357,656
当 期 末 処 理 損 失 金		141,019,651

注 記

4.個別注記事項

1.この決算関係書類は、中小企業の会計に関する指針によって作成されています。

2.重要な会計方針にかかる事項に関する注記

(1)資産の評価基準及び評価方法は以下のとおりです。

①棚卸資産の評価基準及び評価方法

【商品】	書籍・購買	売価還元法による原価法
	食堂(食材)	最終仕入原価法による原価法

(2)固定資産の減価償却の方法は以下のとおりです。

①有形固定資産	定率法	主 な 耐 用 年 数	建物	7年～50年
1998年4月1日以後に取得した建物及び2016年4月1日以後に取得した建物附属設備・構築物については定額法			建物附属設備	3年～18年
			器具备品	2年～20年
			車両運搬具	2年～7年
②無形固定資産	定額法	ソフトウェアは利用期間(5年)に基づく定額法		
③長期前払費用	定額法			

(3)引当金の計上基準は以下のとおりです。

①貸倒引当金	債権の貸し倒れによる損失に備えるために、一般債権は法人税法に定める一括評価金銭債権に係る繰入率による繰入限度相当額を計上しています。
②賞与引当金	職員の賞与の支給に備えるため、支給見込み額の当期負担額を計上しています。
③退職給付引当金	退職給付会計に関する注記に記載しています。
④役員退職給与引当金	役員の退職金に備えるため、役員報酬規則による期末要支給額相当額を計上しています。

(4)その他決算関係書類の作成のための基本となる重要な事項は以下のとおりです。

①消費税等の会計処理

消費税等の会計処理は、税抜方式を採用しています

3.損益計算書に関する注記

(1)事業外損益の主な内訳は以下のとおりです。

①事業外収益

単位:円

受取利息		9,916	預金利息
受取配当金		38,707	出資配当金
雑収入	雇用調整休業助成金等	16,815,880	雇用調整助成金・緊急雇用安定助成金等
	組合員証再発行手数料	5,939,320	
	正規職員新採教育研修参加補助	1,555,557	
	退職引当計上過剰分	3,410,753	
	キャッシュレス還元補助	5,236,801	
	全国WEB受取手数料	777,277	
	富山高等専門学校生協業務委託料	1,200,000	
	その他	888,473	

②事業外費用

支払利息		1,150	
雑損失	出資金整理後返還金	483,000	
	キャッシュレス還元ポイント	5,459,723	
	ICプリペイド前受金整理損	2,809,694	
	その他	258,774	

(2) 特別損益の主な内訳は以下のとおりです。

単位:円

特別利益	コロナによる行政からの補助金収入	2,063,996	持続化給付金等
	コロナによる事業連合からの支援金	8,842,000	
	コロナによる共済連からの支援金	2,081,400	
	給与過払い事故の事業連合からの弁済	9,870,000	
	組合員出資金整理益	4,004,000	
	コロナによるブロック支援金	278,000	
特別損失	固定資産除却損	80,500	

(3) 法人税等は住民税です。

4. 退職給付会計に関する注記

(1) 退職給付債務の計上基準

職員の退職により支給する退職給付に備えるため、当期末における退職給付債務(退職給付債務の算定にあたり、簡便法を採用しています)及び年金資産の見込み額をもとに計算した金額を退職給付引当金として計上しています。

(2) 採用する退職給付制度

職員の退職により支給する退職給付に充てるため、退職一時金制度、退職年金制度を採用しています。

(3) 簡便法を適用した制度の、退職給付引当金の期首残高と期末残高の調整表

退職給付引当金の期首残高	43,742,598 円
退職給付費用	3,445,985 円
退職給付の支払額	△ 3,349,347 円
年金制度への拠出額	△ 1,753,880 円
退職引当計上過剰	△ 3,410,753 円
出向受入者負担分	△ 439,200 円
退職給付引当金の期末残高	38,235,403 円

(4) 退職給付債務及び年金資産と退職給付引当金の調整表

積立型制度の退職給付債務	51,414,130 円
年金資産	△ 13,178,727 円
貸借対照表に計上された負債と資産の純額	38,235,403 円
退職給付引当金	38,235,403 円
貸借対照表に計上された負債と資産の純額	38,235,403 円

(5) 退職給付に関連する損益

簡便法で計算した退職給付費用	3,006,785 円
出向受入者に対する退職給付費用	439,200 円

(6) 企業年金基金制度について

このほかに、職員については日生協企業年金基金に加入していますが、複数の事業主による総合設立型基金のため退職給付債務等は計上していません。

なお、複数事業主制度に関する事項は以下の通りです。

【第1年金制度】

① 制度全体の積立状況に関する事項

年金時価資産額	44,459,767,895	(2021年2月末日)
数理債務	34,223,110,000	(2020年3月末日)
差引額	10,236,657,895	

② 制度全体に占める当生協の掛金拠出割合(2021年2月分)

0.03728 %

③ 補足説明

数理債務は2020年3月末時点、年金時価資産額は上記基準日時点の金額を使用しており期間に差が生じています。基準日時点における数理債務は当該期間分増加するものと予想され、それを追加すると差額は減少します。

なお、2020年3月末時点の繰越剰余金は、7,691,491,586円で過去勤務債務残高はありません。

5. 関連当事者との取引に関する注記

(1) 会社等

単位:円

種類	法人等の名称	資本金または出資金	議決権割合	関連当事者との関係	取引の内容	取引金額	科目	期末残高
関連法人	一般社団法人 富山大学出版会	3,000,000	直接 12.5%	役員兼任2名	商品仕入	3,734,588	買掛金	294,834
					業務委託	120,000	貸付金	6,000,000

(取引条件および取引条件の決定方法)

上記取引の内容については、市場の実勢価格を勘案して価格を決定しています。なお、上記金額のうち、取引金額については消費税等が含まれていませんが、期末残高には含まれています。

(2) 組合

単位:円

種類	法人等の名称	資本金または出資金	議決権割合	関連当事者との関係	取引の内容	取引金額	科目	期末残高
関連法人	大学生協 事業連合	4,129,330,000	直接 0.52%	仕入先 役員兼任なし	商品仕入	874,467,667	前渡金	0
					業務委託	33,045,424	買掛金	123,640,621
					経費仕入	28,330,584	未払金	862,796
					POSレジ使用料	3,150,516	未収金	5,085,628

2020年度 決算関係書類の附属明細書

1 組合員資本の明細

単位:円

区 分	期首残高	当期増加額	当期減少額	期末残高	備考
組 合 員 出 資 金	172,941,500	37,333,000	37,038,500	173,236,000	
当 期 未 処 分 剰 余 金	△ 110,357,656	0	30,661,995	△ 141,019,651	
合 計	62,583,844	37,333,000	67,700,495	32,216,349	

2 有形固定資産及び無形固定資産の明細 (その他固定資産に計上された償却費の生ずるものを含む)

単位:円

資 産 の 種 類							
	期首帳簿価額	当期増加額	当期減少額	当期償却額	期末帳簿価額	減価償却累計額	期末取得原価
建 物 及 び 附 属 設 備	17,268,527	0	0	1,687,119	15,581,408	50,961,516	66,542,924
構 築 物	123,892	0	0	30,973	92,919	370,044	462,963
車 両 運 搬 具	1,098,147	0	0	643,827	454,320	10,367,912	10,822,232
器 具 備 品	7,334,197	1,779,500	80,500	2,804,071	6,229,126	80,446,051	86,675,177
有形固定資産計	25,824,763	1,779,500	80,500	5,165,990	22,357,773	142,145,523	164,503,296
	期首帳簿価額	当期増加額	当期減少額	当期償却額	期末帳簿価額	減価償却累計額	期末取得原価
ソ フ ト ウ ェ ア	457,834	0	0	134,000	323,834		
電 話 加 入 権	504,000	0	0	0	504,000		
無形固定資産計	961,834	0	0	134,000	827,834		
	期首帳簿価額	当期増加額	当期減少額	当期償却額	期末帳簿価額		
長 期 前 払 費 用	27,826,056	0	0	8,863,529	18,962,527		
その他固定資産計	27,826,056	0	0	8,863,529	18,962,527		
合 計	54,612,653	1,779,500	80,500	14,163,519	42,148,134		

(注) 主な増減の内容は以下のとおりです。

- 1 器具備品の増加の主なものはショッパの冷凍冷蔵什器の購入です。

3 関係団体等出資金の明細

単位:円

出 資 先	期首残高	当期増加額	当期減少額	期末残高	備考
関係団体 出資金	全国大学生協連	6,262,000	0	0	6,262,000
	大学生協共済連	3,100,000	0	0	3,100,000
	大学生協事業連合	33,030,000	8,840,000	0	41,870,000
	富山大学出版会	1,970,000	0	0	1,970,000
	富山県旅行業協会	100,000	0	0	100,000
	富山県生協連合会	606,000	0	0	606,000
	労働金庫	50,000	0	0	50,000
合 計	45,118,000	8,840,000	0	53,958,000	0

4 引当金の明細

単位:円

区 分	期首残高	当期増加額	当期減少額	期末残高	備考
貸倒引当金	500,000	80,000	0	580,000	
賞与引当金	3,521,500	2,489,400	3,521,500	2,489,400	目的使用
役員退職給与引当金	251,416	267,075	0	518,491	

(注)退職給付引当金の明細については4.個別注記事項 4.退職給付会計に関する注記を参照してください。

5 事業経費の明細

単位:円

科 目	金 額
役員報酬	9,850,880
職員給与	36,172,398
定時職員給与	134,834,693
退職給付費用	3,445,985
法定福利費	15,524,448
厚生費	2,670,646
役員退職給与引当金繰入額	595,395
賞与引当金繰入額	2,489,400
人件費合計	205,583,845
2. 物件費	
教育文化費	510,894
広報費	25,189,555
消耗品費	24,820,846
車両運搬費	3,140,538
貸倒引当金繰入額	80,000
施設維持管理費	10,642,994
減価償却費	14,163,519
賃借料	4,856,764
水道光熱費	22,907,199
保険料	507,880
委託料	24,094,837
研修採用費	606,344
調査研究費	383,252
会議費	271,245
諸会費	6,133,250
渉外費	109,708
租税公課	709,535
通信交通費	5,621,672
雑費	9,202,258
事業連合委託費	32,860,000
物件費合計	186,812,290
事業経費合計	392,396,135

事業経費の明細の役員退職引当金繰入額に外部積立金費用を含めて計上しています。

6 事業の種類ごとの損益の明細および事業別事業経費明細

事業は供給・利用事業のみのため事業の種類ごとの損益の明細及び事業別事業経費明細は、損益計算書及び事業経費の明細と同じです。

7 キャッシュ・フロー計算書

間接法

自 2020年3月1日 至 2021年2月28日

単位:円

I 事業活動によるキャッシュフロー	
税引前当期剰余金	△ 29,885,495
減価償却費	14,163,519
貸倒引当金の増減額	80,000
賞与引当金の増減額	△ 1,032,100
退職給付引当金の増減額	△ 5,507,195
役員退職給与引当金の増減額	267,075
受取利息および受取配当金	△ 48,623
支払利息	1,150
固定資産除却損	80,500
供給債権の増減額	△ 7,712,713
棚卸資産の増減額	△ 31,220,424
仕入債務の増減額	25,715,509
未払消費税等の増減額	△ 12,961,600
事業活動その他	△ 731,509
小 計	△ 48,791,906
利息および配当金等の受取額	48,623
利息の支払額	△ 1,150
法人税等の支払額	△ 776,500
事業活動によるキャッシュフロー	△ 49,520,933
II 投資活動によるキャッシュフロー	
定期預金の預入による支出	△ 3,603
固定資産の取得による支出	△ 1,779,500
関係団体出資金の出資による支出	△ 8,840,000
差入保証金の払戻による収入	10,000
投資活動によるキャッシュフロー	△ 10,613,103
III 財務活動によるキャッシュフロー	
組合員出資金の増減額	294,500
財務活動によるキャッシュフロー	294,500
IV 現金及び現金同等物の増減額	△ 59,839,536
V 現金及び現金同等物期首残高	226,963,923
VI 現金及び現金同等物期末残高	167,124,387

(注) 現金及び現金同等物の範囲

単位:円

項 目	期 首	期 末
現金及び預金	312,062,072	252,226,139
預入期間が3か月を超える定期預金	△ 85,098,149	△ 85,101,752
現金及び現金同等物	226,963,923	167,124,387

8 主要な事業に係る資産及び負債の内容その他決算関係書類の内容を補足する重要な事項

(1) 主要な資産の内容

① 現金預金の明細

単位:円

科目	内 訳	期首残高	期末残高	当期増減額
現金預金	現 金	6,385,217	7,423,018	1,037,801
	当 座 預 金	825,678	524,927	△ 300,751
	普 通 預 金	219,753,028	159,176,442	△ 60,576,586
	定 期 預 金	85,098,149	85,101,752	3,603
合 計		312,062,072	252,226,139	△ 59,835,933

② 供給未収金の明細

イ. 内訳

単位:円

相 手 先	金 額
I 大学等利用	6,143,443
II 教育・研究	26,330,042
III 一般売掛	4,975,894
連合受付合宿教習所	2,601,600
KLAS供給未収金	13,698,380
合 計	53,749,359

ロ. 回収状況

単位:円

期首残高	当期発生高	当期回収高	期末残高	回収率
46,036,646	501,367,056	493,654,343	53,749,359	90.2%

③ 商品および貯蔵品の明細

単位:円

科 目	内 訳	金 額
商 品	一 般 商 品 (物品)	45,193,135
	書 籍	32,372,706
	食 材	2,336,254
	サ ー ビ ス	52,406
合 計		79,954,501

④ 貸付金の明細

単位:円

科 目	貸 付 先	期首残高	期末残高	当期増減額
長期貸付金	富山大学出版会	6,000,000	6,000,000	0
合 計		6,000,000	6,000,000	0

⑤未収消費税等の明細

単位:円

内 訳	金 額
未収消費税	5,922,000
合 計	5,922,000

⑥未収金の明細

単位:円

内 訳	金 額
大学生協事業連合	5,085,628
ICプリペイドオンライン入金(連合からの入金待ち)	4,565,000
キャッシュレス還元補助分(事務局からの入金待ち)	1,953,211
年度末未収金計上	922,967
図書券・図書カード	8,096
その他	143,875
合 計	12,678,777

⑦仮払金の明細

単位:円

内 訳	金 額
雇用保険料一括納付	1,513,989
合 計	1,513,989

⑧差入保証金の明細

単位:円

差 入 先 (内 訳)	金 額
事業センター保証金	1,000,000
旅行業弁済業務保証金	600,000
宅建取引業営業保証金	600,000
日本交通公社	500,000
全旅協クーポン会	200,000
図書券加盟店加入金	50,000
合 計	2,950,000

(2)主要な負債の内容

①買掛金の明細

単位:円

相 手 先	金 額
大学生協事業連合	123,640,621
富山大学出版会	1,987,972
アマゾン	733,382
インボイス	411,310
その他(20社)	3,974,900
合 計	130,748,185

②未払金の明細

単位:円

内 訳	金 額
大学生協事業連合	862,796
合 計	862,796

③未払法人税等の明細

単位:円

内 訳	金 額
府県民税	136,500
市町村民税	640,000
合 計	776,500

④未払費用の明細

単位:円

内 訳	金 額
職員給与未払費用	13,412,794
合 計	13,412,794

⑤前受金の明細

単位:円

内 訳	金 額
ミールチャージ前受金	131,004,775
ICプリペイド前受額	67,837,767
卒業アルバム	24,899,200
入学アルバム	142,400
サービスPOS予約金	18,786,961
年度末商品代金前受金	13,698,380
公務員講座前受金	3,698,504
卒業印鑑	820,000
合 計	260,887,987

⑥預り金の明細

単位:円

内 訳	金 額
未返還組合員出資金	13,031,000
未受取ICプリペイド預り金(サーバー内預り金)	9,426,149
住まい預り金	4,072,700
給与控除預り金	3,210,905
学生生活110番預り金	323,460
共済掛金預り金	25,520
その他	283,260
合 計	30,372,994

(3)比較貸借対照表および比較損益計算書

①比較貸借対照表

単位:円

資 産 の 部	2019年度	2020年度	負 債 ・ 純 資 産 の 部	2019年度	2020年度
(資 産 の 部)			(負 債 の 部)		
流 動 資 産	430,616,124	405,464,765	流 動 負 債	432,728,919	439,550,656
現 金 預 金	312,062,072	252,226,139	買 掛 金	105,032,676	130,748,185
供 給 未 収 金	46,036,646	53,749,359	未 払 金	813,834	862,796
商 品 及 び 原 材 料	48,734,077	79,954,501	未 払 法 人 税 等	776,500	776,500
未 収 消 費 税 等	0	5,922,000	未 払 消 費 税 等	12,961,600	0
未 収 金	22,699,716	12,678,777	未 払 費 用	14,541,471	13,412,794
仮 払 金	1,583,613	1,513,989	前 受 金	262,151,368	260,887,987
貸 倒 引 当 金	△ 500,000	△ 580,000	預 り 金	32,929,970	30,372,994
			賞 与 引 当 金	3,521,500	2,489,400
固 定 資 産	108,690,653	105,056,134	固 定 負 債	43,994,014	38,753,894
有 形 固 定 資 産	25,824,763	22,357,773	長 期 借 入 金	0	0
建 物 及 び 附 属 設 備	66,542,924	66,542,924	退 職 給 付 引 当 金	43,742,598	38,235,403
減 価 償 却 累 計 額	△ 49,274,397	△ 50,961,516	役 員 退 職 給 与 引 当 金	251,416	518,491
	17,268,527	15,581,408	預 り 保 証 金	0	0
構 築 物	462,963	462,963	長 期 未 払 金	0	0
減 価 償 却 累 計 額	△ 339,071	△ 370,044	繰 延 税 金 負 債	0	0
	123,892	92,919			
車 両 運 搬 具	10,822,232	10,822,232	負 債 合 計	476,722,933	478,304,550
減 価 償 却 累 計 額	△ 9,724,085	△ 10,367,912			
	1,098,147	454,320	(純 資 産 の 部)		
器 具 備 品	86,183,677	86,675,177	組 合 員 資 本	62,583,844	32,216,349
減 価 償 却 累 計 額	△ 78,849,480	△ 80,446,051	出 資 金	172,941,500	173,236,000
	7,334,197	6,229,126			
無 形 固 定 資 産	961,834	827,834	剰 余 金	△ 110,357,656	△ 141,019,651
ソ フ ト ウ ェ ア	457,834	323,834	当 期 未 処 分 剰 余 金	△ 110,357,656	△ 141,019,651
電 話 加 入 権	504,000	504,000	(うち 当 期 剰 余 金)	(16,028,510)	(△ 30,661,995)
そ の 他 固 定 資 産	81,904,056	81,870,527			
関 係 団 体 等 出 資 金	45,118,000	53,958,000	純 資 産 合 計	62,583,844	32,216,349
長 期 貸 付 金	6,000,000	6,000,000			
長 期 前 払 費 用 金	27,826,056	18,962,527	資 産 合 計	539,306,777	510,520,899
差 入 保 証 金	2,960,000	2,950,000	負 債 ・ 純 資 産 合 計	539,306,777	510,520,899
資 産 合 計	539,306,777	510,520,899			

②比較損益計算書

単位:円

勘定科目	2019年度実績	2020年度予算	2020年度実績	対前年増減額	対予算差異
供給高	1,607,005,171	1,534,293,000	1,150,838,011	△ 456,167,160	△ 383,454,989
供給値引	6,454,307	6,568,000	6,380,692	△ 73,615	△ 187,308
純供給高	1,600,550,864	1,527,725,000	1,144,457,319	△ 456,093,545	△ 383,267,681
期首商品棚卸高	49,111,465		48,734,077	△ 377,388	48,734,077
仕入高	1,174,616,094		910,263,854	△ 264,352,240	910,263,854
期末商品棚卸高	48,734,077		79,954,501	31,220,424	79,954,501
供給剰余金	425,557,382	418,353,000	265,413,889	△ 160,143,493	△ 152,939,111
共済受託手数料収入	9,622,969	9,905,000	9,722,803	99,834	△ 182,197
教育文化事業収入	8,334	0	0	△ 8,334	0
供給事業手数料収入	5,062,838	5,057,000	10,776,371	5,713,533	5,719,371
その他手数料収入	27,032,536	36,172,000	22,678,338	△ 4,354,198	△ 13,493,662
その他事業収入計	41,726,677	51,134,000	43,177,512	1,450,835	△ 7,956,488
事業総剰余金	467,284,059	469,487,000	308,591,401	△ 158,692,658	△ 160,895,599
役員報酬	10,114,091	10,035,000	9,850,880	△ 263,211	△ 184,120
職員給与	39,526,291	46,924,000	36,172,398	△ 3,353,893	△ 10,751,602
定時職員給与	162,251,084	167,046,000	134,834,693	△ 27,416,391	△ 32,211,307
退職給付費用	3,210,493	3,070,000	3,445,985	235,492	375,985
法定福利費	15,827,179	16,128,000	15,524,448	△ 302,731	△ 603,552
厚生費	4,050,884	3,828,000	2,670,646	△ 1,380,238	△ 1,157,354
役員退職給与引当金繰入額	704,559	670,000	595,395	△ 109,164	△ 74,605
賞与引当金繰入額	3,521,500	4,088,000	2,489,400	△ 1,032,100	△ 1,598,600
人件費合	239,206,081	251,789,000	205,583,845	△ 33,622,236	△ 46,205,155
教育文化費	3,171,369	3,879,000	510,894	△ 2,660,475	△ 3,368,106
広報費	36,068,547	34,311,000	25,189,555	△ 10,878,992	△ 9,121,445
消耗品費	25,195,198	27,251,000	24,820,846	△ 374,352	△ 2,430,154
車両運搬費	3,377,007	3,256,000	3,140,538	△ 236,469	△ 115,462
貸倒引当金繰入額	55,000	0	80,000	25,000	80,000
施設維持管理費	12,977,069	11,782,000	10,642,994	△ 2,334,075	△ 1,139,006
減価償却費	17,773,810	13,888,000	14,163,519	△ 3,610,291	275,519
賃借料	4,889,075	3,534,000	4,856,764	△ 32,311	1,322,764
水道光熱費	28,174,393	29,369,000	22,907,199	△ 5,267,194	△ 6,461,801
保険料	559,060	516,000	507,880	△ 51,180	△ 8,120
委託料	24,656,221	23,395,000	24,094,837	△ 561,384	699,837
研修採用費	1,550,103	1,792,000	606,344	△ 943,759	△ 1,185,656
調査研究費	505,383	784,000	383,252	△ 122,131	△ 400,748
会議費	2,054,606	2,863,000	271,245	△ 1,783,361	△ 2,591,755
諸会費	6,160,850	6,365,000	6,133,250	△ 27,600	△ 231,750
渉外費	316,053	294,000	109,708	△ 206,345	△ 184,292
租税公課	686,332	842,000	709,535	23,203	△ 132,465
通信交通費	6,001,109	6,975,000	5,621,672	△ 379,437	△ 1,353,328
雑費	12,651,663	13,511,000	9,202,258	△ 3,449,405	△ 4,308,742
事業連合委託費	32,784,000	32,860,000	32,860,000	76,000	0
物件費合	219,606,848	217,467,000	186,812,290	△ 32,794,558	△ 30,654,710
事業経費合計	458,812,929	469,256,000	392,396,135	△ 66,416,794	△ 76,859,865
事業剰余金	8,471,130	231,000	△ 83,804,734	△ 92,275,864	△ 84,035,734
受取利息	11,655	12,000	9,916	△ 1,739	△ 2,084
受取配当金	38,707	38,000	38,707	0	707
雑収入	24,392,656	19,000,000	35,824,061	11,431,405	16,824,061
事業外収益	24,443,018	19,050,000	35,872,684	11,429,666	16,822,684
支払利息	1,122	2,000	1,150	28	△ 850
雑損失	18,201,364	16,760,000	9,011,191	△ 9,190,173	△ 7,748,809
事業外費用	18,202,486	16,762,000	9,012,341	△ 9,190,145	△ 7,749,659
経常剰余金	14,711,662	2,519,000	△ 56,944,391	△ 71,656,053	△ 59,463,391
特別利益計	2,638,000	0	27,139,396	24,501,396	27,139,396
特別損失計	544,652	0	80,500	△ 464,152	80,500
税引前当期剰余金	16,805,010	2,519,000	△ 29,885,495	△ 46,690,505	△ 32,404,495
法人税等	776,500	0	776,500	0	776,500
当期剰余金	16,028,510	2,519,000	△ 30,661,995	△ 46,690,505	△ 33,180,995
当期首繰越剰余金	△ 126,386,166	0	△ 110,357,656	16,028,510	△ 110,357,656
当期末処分剰余金	△ 110,357,656	2,519,000	△ 141,019,651	△ 30,661,995	△ 143,538,651

2020 年度活動報告 詳細

1. わたしたちの生活を取り巻く状況

新型コロナウイルス感染症の影響により、まさに全国の大学の状況は大きく変化しました。富山大学でも 20 年 3 月ごろから影響が出始め、入学式などの学内行事の中止や授業開始日の延期、そしてその後の緊急事態宣言を受けての原則オンラインでの授業実施と、まさに前期は学生が学内にいない状況となりました。後期は原則対面となりましたが、オンライン授業とのハイブリッドでの運用となり、また学部によって対面とオンラインの比率に差あったためキャンパス間での学内人口の回復に差が生まれています。

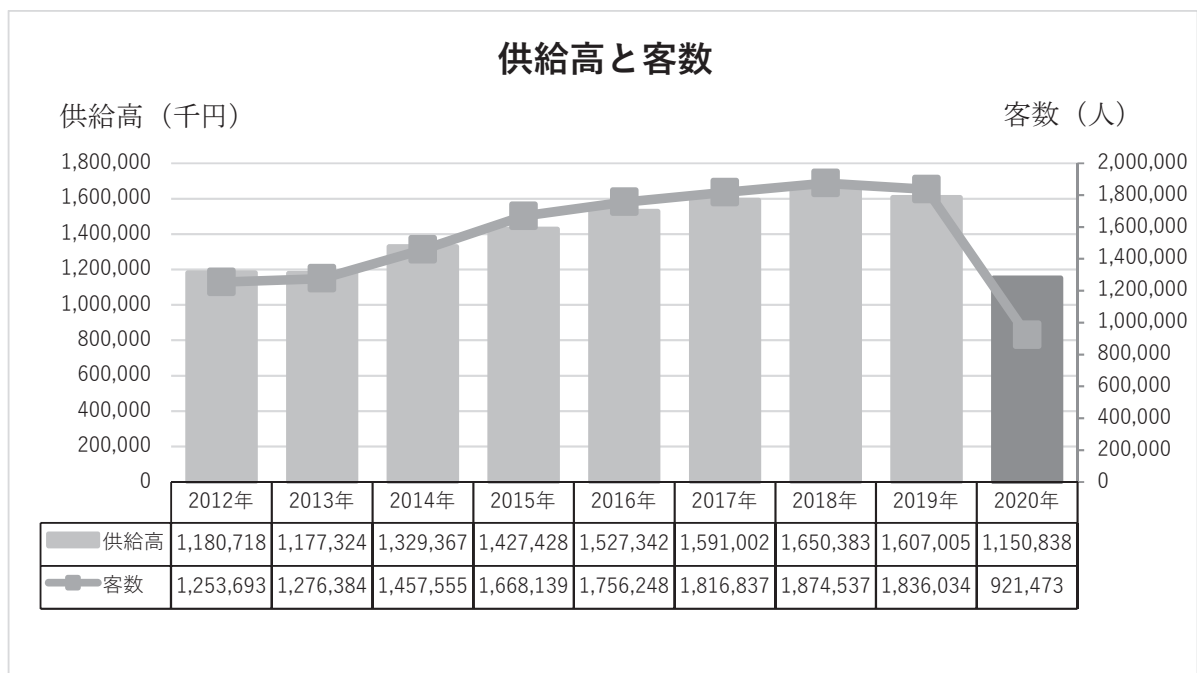
このようなコロナ禍での新しい大学生活スタイルは、学生の生活にも影響を与えています。第 56 回（2020 年）学生生活実態調査（全国大学生協連合会実施）によると、富山大学の下宿生の平均収入は 112,440 円で前年より約 8,700 円減少しており、特にアルバイト収入は前年より約 10,000 円減少しています。収入の減少により支出も控える傾向にあり、支出項目の中で貯蓄だけが前年より増加しており、コロナ禍によるステイホームの影響が出ています。

また 1 年生は、他の学年とは違った傾向となっています。「アルバイトをしていない」は 42% と他学年と比べて高い状況となっています。大学生活での悩みでも「対人関係がうまくいかない」と答えた割合が 28% と他の学年より約 20% 高くなっています。新入生歓迎時期やその後のオンライン授業などで社会や大学内でのリアルなつながりづくりの場面が少なかったことが影響していると思われます。

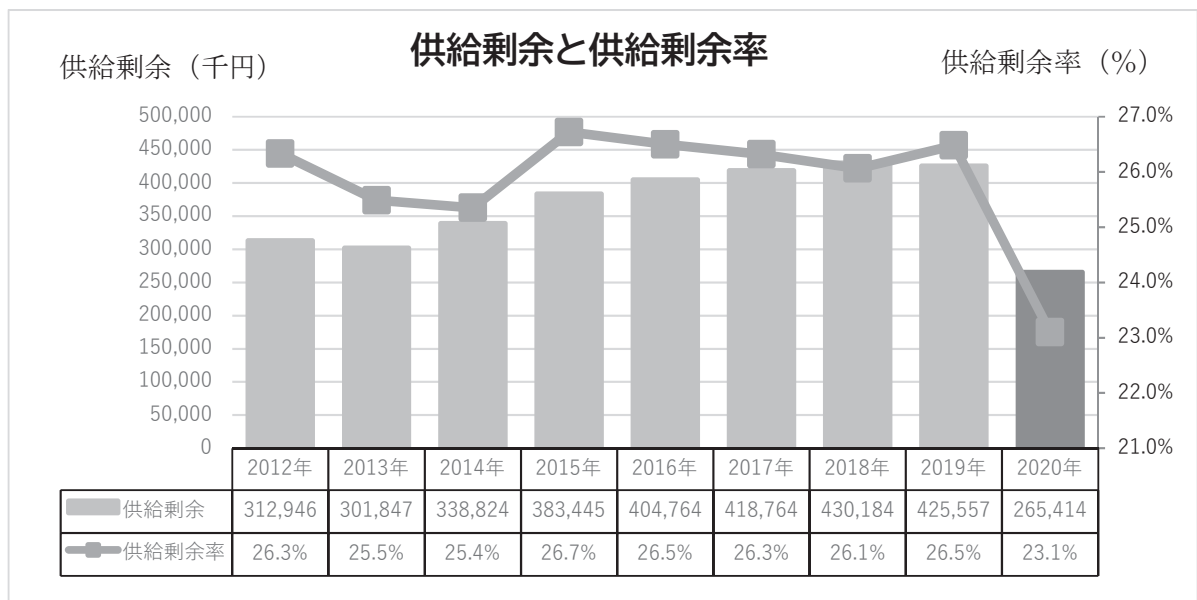
2. 新型コロナウイルス感染症による大学生活の様々な変化が経営に影響し、単年度で赤字決算となりました。

1) 新型コロナウイルス感染症によるキャンパス人口減少、および 1 月の富山豪雪により日常利用が大幅に減少しました。

- 供給高は、11 億 5,084 万でした。対予算△3 億 8,345 万円、対前年△4 億 5,617 万円となり、大きく減少しました。前期での緊急事態宣言以降のオンライン授業によるキャンパス人口の減少、後期は 11 月のクラスター発生に伴う休講措置や 1 月の豪雪と市中感染拡大傾向に伴う原則オンライン授業への切り替えなどにより、それまで富山大生協の屋台骨であったキャンパス内での食堂・食品といった日常利用が半減したことが要因です。またこれにより客数も前年の半減となり 92 万人となりました。
- 一方で大学公費は好調となり、情報機器やソフトウェア、AV・家具・家電商品は伸長しました。



- 供給高から供給原価を差引いた供給剰余（粗利益）は2億6,541万円となり、前年より約1億6,000万減少しました。供給剰余率（供給剰余÷供給高）も23.1%で前年より3.4%減少しました。
- 新型コロナウイルス感染症の影響で、客数予測がつきづらい状況でかつ、感染状況による原則オンライン授業措置や休講措置等の突発事項により食材や商品の値引きや廃棄が発生したことが要因です。

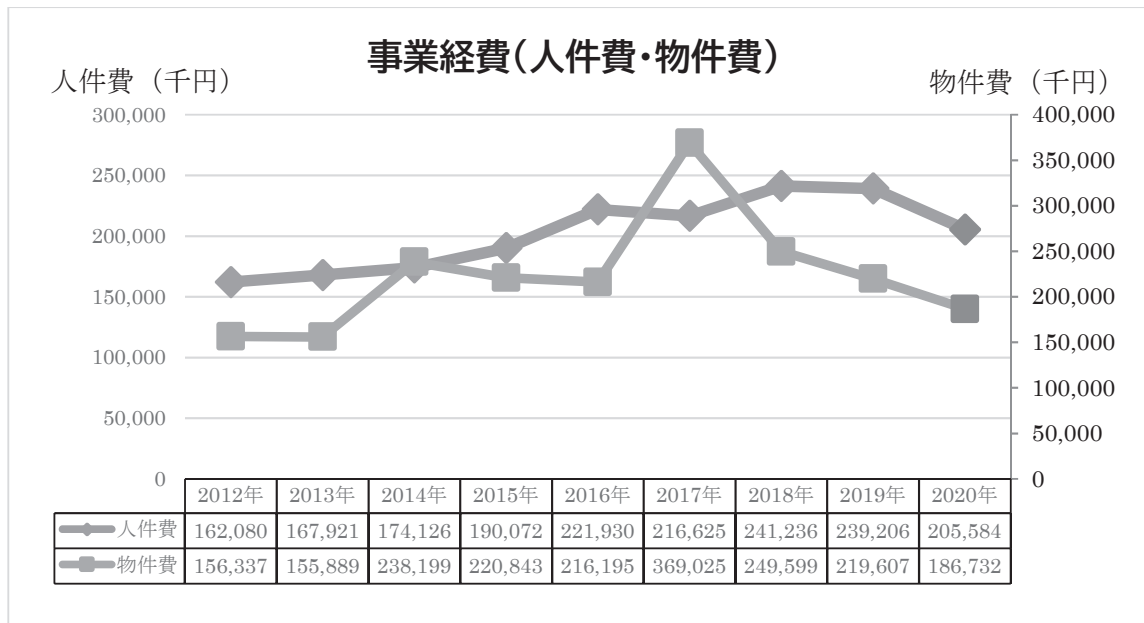


2) 未曾有の経営危機に対して理事会では「経営改善計画」を策定し「富山大生協の存続」と「債務超過の回避」を掲げて実行しました。

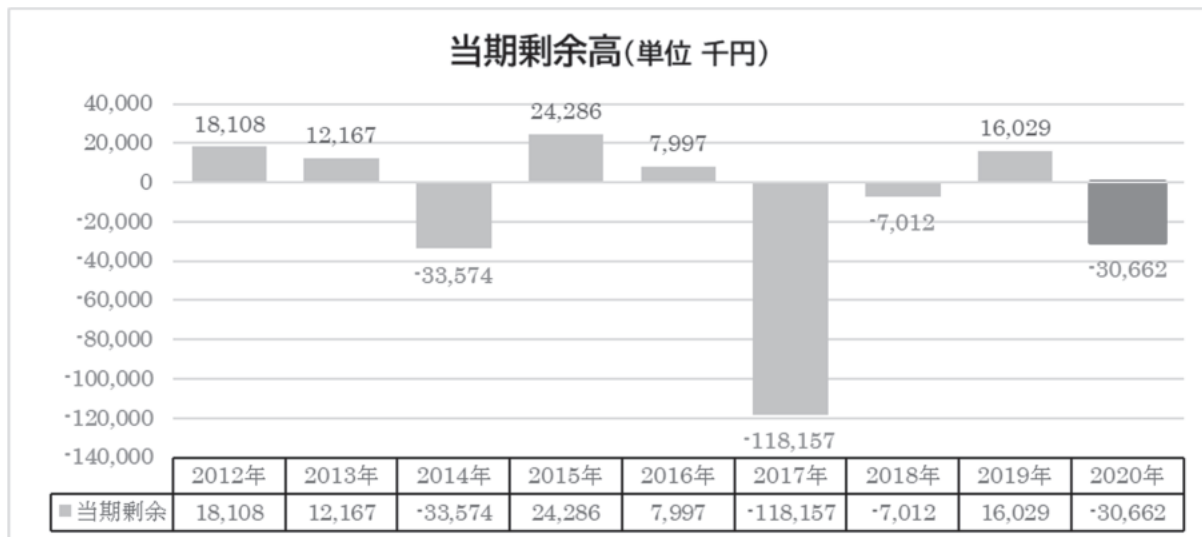
- 新型コロナウイルス感染による上半期利用の大幅減少に対して、理事会では過去に例がない経営危機と捉え、経営改善計画を策定しました。
- 経営改善計画は、生協内で感染対策を徹底する大前提の上でコロナ禍での3つの基本方

針として①学生・教職員・生協職員の健康と安全を守る。②富山大学の福利厚生を支える組織として事業を中断することなくサービス・商品・食事を提供することに責任を持つ。③生協が将来存続できないような経営悪化を防ぐ。を掲げ、最重要経営課題として「富山大生協の組織存続」と「債務超過を絶対に回避すること」を目標に富山大生協の総力をもって取り組むことを決め、実行しました。

- また数値目標として、下半期で20年度予算に対して供給高80%回復、事業経費20%削減を目指し、年度末での単年度赤字を4,000万以下に留めることを掲げました。
- 供給対策としては、公費需要の獲得に強化し、加えて学内動向や利用動向を踏まえて営業時間の調整を行いました。結果として下半期は対予算86.1%、対前年80.7%となり目標を達成することができました。
- 生協の経営状況の発信と加入強化と利用結集を目的とし組合員に対して、「富山大学生協からの4つのお願い」を発信しました。大学からも発信していただき、公費の利用や教職員の加入につながりました。
- 事業経費については、人件費対策として①客数(予測)に応じた稼働シフトの見直し。②パート職員への休業要請(休業補償)。③役員報酬・正規職員賞与減額などを行いました。物件費対策としては①大口備品購入の見直し・中止。②出張等などの中止。(オンライン)③営業の効率化・時短による水光熱費の削減。④事業連合委託費の減免(緊急経営支援金)等を行いました。一方で老朽化による什器の買い替えや感染対策用備品の購入などもあり、結果として下半期は対予算15.6%削減、対前年13.9%となりました。ただし休業補償分を考慮した場合は年間では対予算、対前年とも20%以上の削減となりました。



- 上記経営改善に加えて、事業外の損益として、雇用調整助成金や持続化給付金などの行政からの補助金度も加え、法人税を支払った後の当期剰余は△3,062 万円と目標の単年度赤字△4,000 万円以下に抑えることができました。
- 昨年度までの累積損失金が 1 億 1,036 万円でしたので、当期末処理損失金は 1 億 4,102 万円となりました。



3) 「生協から感染者を出さない」ために、新型コロナウイルス感染対策を大学と協力しながら徹底しました。

- 大学と協力しながら、新型コロナウイルス感染対策を徹底しました。

新型コロナウイルス感染対策の徹底

入店時には手洗いまたはアルコールの消毒のお願い徹底しています

飛沫防止のためビニールカーテンもしくはアクリル板を設置

出社時には従業員全員に検温と体調チェック表の記入を義務付け

焼き立てパンなどはすべて袋詰めをしています

密にならないための利用動線の一方向対応

店内放送で感染予防の呼びかけ

ソーシャルディスタンスを保つ工夫

利用後の座席とテーブルの消毒徹底

➤ 後期授業対応のため、さらに感染対策の強化。

- ・食堂のテーブルに衝立を購入し設置。
- ・食堂内にサーキュレーターを増設し換気の強化。
- ・マスク着用・食事後速やかに退席の呼びかけ。

**新型コロナウイルス対策
食堂ご利用の
皆様へお願い**

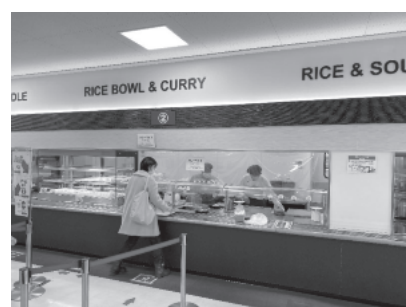
マスクを外してのおしゃべりは止めてください

お食事が終わり次第速やかに席をお譲りください

★お静かにお召し上がりください。
★お食事以外はマスクをお付けください

4) コロナ禍の学生・教職員の大学生活に対して「今すべきこと」「今だからすべきこと」に取り組みました。

- 教科書販売は感染状況を踏まえた対応を行いました。前期は緊急事態宣言を受け、全面宅配対応に切り替えました。後期は、原則対面販売としながらも密を避け感染対策を徹底するために分散利用での販売を行いました。また販売にあたっては、学生に情報を周知するため大学と一緒に発信しました。
- オンラインを活用したサービスも実施しました。新入生向けのパソコン講習会は、感染防止の観点からオンラインに切り替えました。また公務員講座もオンラインでの受講環境を整え、受講生の試験対策の流れが断ち切れることがないように対応しました。
- コロナ禍で経営改善を進めキャンパス人口に応じた効率的な営業時間の中で、夕食営業を中断した第二大学食堂を利用する工学部・都市デザインキャンパスの実験・研究を行う学生・院生・教職員のサポートとして、食堂で作った夕食弁当を販売し好評を得ました。
- OpenCafeAZAMI では、学内でゆっくりくつろげる場、学内・地域が交流できる場となるようコンセプトやサービスの見直しを行っています。その一つとして「地域交流」を視野に市内の洋菓子店のケーキを仕入、販売しました。
- 1月の富山豪雪では、生協に限らずキャンパスの周りのコンビニやスーパーの物流が止まり、商品がない状況となり、学生が困っている状況を鑑み、生協でカレーの出食（炊き出し）を行いました。また富山県生協からの相談と協力で、食品ロス削減の取り組みとして、豪雪で配達できなかった県生協の宅配食材を新樹寮の寮生に提供しました。
- 学生に朝から少しでも栄養がある食事をとということで、ショップでフルーツの販売を行いました。学生にも購入しやすいように小分けで販売したため、利用する学生が多くいました。



5) 生協の情報がキャンパス外でも学生・教職員に届けるため広報宣伝を強化しました。

- コロナ禍で学内の状況に合わせた営業時間の変更など、生協に関する情報を学生・教職員に周知徹底するため、生協のホームページを改修しました。また、大学と連携し、学生・教職員への生協の情報の周知も大学からも周知していただきました。

- 教職員の生協利用・加入促進のため、教職員向けの生協利用リーフの作成と配布、ホームページコンテンツの追加など、今まで不十分だった教職員向け対応の充実に着手することができました。

6) 大学との連携と情報共有の強化にこだわりました。

- コロナ禍での大学との連携・協力を強めるため、大学との懇談会や意見交換会の場を積極的に実施し、生協の経営状況の報告、大学からの要望や意見、生協からの要望、今後の大学運営等について意見交換を行いました。特に学務部長・学生支援課長とは、適宜、意見交換を実施し、上記の内容に関してより具体的な協議を行いました。

7) 組合員への還元を実現しました。

- 組合員の利用に応じて、教科書・書籍割引 638 万円、ミールプレミアム 773 万円、電子マネーポイント 442 万円、ユニコポイント 15 万円 缶ペット回収機 15 万円など総額 1,863 万円の組合員還元を実施しました。

8) 学生どうしの助け合い＝学生総合共済で 155 件 2,588 万円の給付

- 学生総合共済の生命共済では、加入者数は 5,219 人となり、前年から 90 人増加しています。
- 共済の給付件数は、生命共済 155 件で給付金額は 2,588 万円（昨年 1,818 万円）、火災共済 2 件で給付金額は 3 万円（昨年は 12 万円）でした。

3. コロナ禍で学生同士がリアルなつながりが持てない中、オンラインを活用した学生同士の交流企画を学生委員会中心に実施しました。

- コロナ禍で対面での新入生歓迎企画が中止となりました。しかし、学生委員会中心にサークルと連携してオンラインの新歓企画を実施し、1年生同士のつながりづくりにこだわりました。

4. 排水問題に大学と協力しながら取り組みました。

1) 生協では大学と協力しながら厨房から排水される油分の削減に継続して取り組みました。

- 排水基準は、油分が 30mg/ℓ です。これは 1 トンの水に対して、大きじ 2 杯の油の量となります。
- 現在生協では下記の取り組みを実行しています。
 - ①提供する主菜の皿などに紙を敷く
 - ②油脂分の高いドレッシングの提供中止
 - ③使用した調理器具は、洗浄前にペーパータオルで拭き取る
 - ④グリストラップ（油水分離槽）清掃の強化
 - ⑤五福構内下水配管の高圧洗浄

- ⑥食堂で提供した麺類、カップ麺の残汁を回収し産廃処理
- ⑦購買コンビニでのカップラーメンの残汁回収の呼びかけ
- ⑧学生委員会で啓蒙ポスターの作成・掲示
- ⑨定期的に自主検査の実施

今後とも、大学と協議しながら対策を着実に執行することが求められます。

2) その他環境問題に取り組みました。

- 「再発見！わたしたちの街」の取り組みを10月に開催しました。今年度は新型コロナウイルス感染対策の観点から規模を縮小して実施しました。
- 7月からのレジ袋有料化の義務化に伴い、生協全体でレジ袋5円での販売に切り替えました。2020年7月～2021年2月までの利用枚数は24,622枚で客数比5.4%の使用率となっています。販売代金123,110円は富山県を通じて県内の環境活動に寄付致します。
- 大学の環境内部監査にも引き続き参加しました。

5. 大学と協力しながら魅力ある大学づくりに貢献しました。

- 自動販売機の収益から、富山大学基金へ746万円を寄付しました。これまでの総額は7,742万円となり、富山大学生の留学の支援などに活用されています。
- 入学者への機会の平等の観点から、大学より合格者の名簿の提供を継続して受けたことにより、新生活に関する情報を全ての新入生に届けました。
- オンラインオープンキャンパスの開催に生協学生委員会が大学と協力して企画参加しました。また参加された高校生への返礼品として富山大学オリジナルシャープペンを寄付しました。
- 大学への貢献の一環として、新入生の学生証印刷業務を「無償」で受託しています。また富山大学職員証の発行業務も受託し行いました。

2020 年度学生委員会活動総括

富山大生協学生委員長
理学部3年 横山寛明

2020 年度、学生委員会は「組合員が充実した大学生活を送る」というビジョン（活動方針）のもと、具体的な手段として4つのアクションプランを設定しました。また、ビジョンとアクションプランをもとに、生協の一組織として、また組合員として組合員が充実した大学生活を送ることができるよう活動してきました。

また、コロナウイルスの感染拡大の状況によって思い通りの活動ができない部分もありましたが、オンラインも踏まえて柔軟に変化に対応して活動しました。

アクションプラン

【生協利用】

組合員がより快適に生協を利用できるように、組合員の意見を積極的に反映させる

【健康と安心】

組合員が健康で安心して暮らせるように、日常的に共済や予防について考えられる活動を行う

【情報】

今必要な情報とこれから必要な情報をより多くの人に届ける

【環境】

組合員が自然環境、社会環境について考えられる機会をつくり、今起きている課題に目を向けて自分の意見を持てるような活動を行う

通常期での活動

通常期での活動では、学生委員会がビジョン及びアクションプランをもとに行ってきた活動について報告します。

生協利用に関する活動

➤ ひとことカード回収

組合員が生協に声を届ける一つの機会としてひとことカード活動に取り組みました。ひとことカード及び回収ボックスを、各キャンパス食堂・Tulip・AZAMI・第二大学食堂購買に設置し、継続的に組合員の声を集める活動を行いました。

情報に関する活動

➤ Twitter

学生委員会で行う企画宣伝の他、生協店舗のフェアや新商品の告知、営業時間変更などのお知らせといった幅広い情報を発信しました。また、コロナウイルス感染拡大による学内状況の変

化にも対応した情報発信を行うことができました。

フォロワー数：1,777 人（4月19日時点）

➤ Instagram

より学生の目につくように Instagram の運用も始めました。Twitter と同様に多様な情報を発信しました。

フォロワー数：208 人（4月19日時点）

➤ 新春 SNS フォロワーキャンペーン

学生委員会が運営する SNS のフォローのきっかけを作り、生協の公式 SNS もフォローしてもらう足掛かりにすることを目的として行いました。学生委員会の SNS をリツイート・フォローした組合員から抽選で 10 名の方に 500 円分の電子マネーチャージ券をプレゼントしました。

【成果】

応募：58 人 Twitter フォロー増加数：45 Instagram フォロー増加数：21

応募方法が複雑であったという課題はありましたが、既存のフォロワーにうまく働きかけることで新規フォロワー獲得に繋がる可能性があると感じました。

環境に関する活動

➤ 再発見わたしたちの街

組合員が環境活動を継続的に行うきっかけとして地域の方にも参加をしてもらい、富山大学周辺のゴミ拾い活動を行いました。

【成果】

参加者 22 名（学生委員会：18 名、外部団体：4 名）

参加者が過去の同じ活動に比べて集まらなかったという課題はありましたが、当日は参加者どうしの交流がうまく、環境活動を考えるきっかけになりました。



➤ ペットボトルキャップ回収

学館ラウンジに回収ボックスを設置し、年間を通じてペットボトルキャップ回収を行いました。回収したペットボトルキャップの今後の扱いについては検討中です。

総代に関する活動

➤ 総大王

総代同士の交流を深め、総代に生協や共済について知ってもらうことを目的として、クイズ形式で総代に生協や共済についての問題を出題する活動をオンラインで行いました。総代同士が楽しめるように交流の機会も多く設けました。

【成果】

参加者：52名

総代はクイズを楽しみながら生協や共済について知ることができました。ただ、学生委員と総代の交流が多く、総代同士の交流があまり生まれなかったという課題がありました。

➤ プレ総代会

総代が総代会について知り、総代会で意見を発信することを目的として、総代から生協や大学生活に関する意見を交流する活動をオンラインで行いました。

【成果】

参加者：27名

オンライン上での説明ということもあり、総代に総代会の知識を深めてもらうことはあまり達成できなかったことは課題です。一方で画面共有機能を工夫して使うことで総代から様々な意見を集め、交流することができました。

➤ 総代 info

組合員が総代や総代の活動について知るきっかけにするために、総代活動の報告や組合員からのコメント募集を行いました。本店食堂に掲示しました。

【成果】

コメント数：15

新型コロナウイルス感染拡大により食堂に来る組合員が少なかったため、総代活動について組合員に広めることはあまりできませんでした。組合員が食堂に来なくても総代活動を知れる方法を考えていく必要があります。

その他

➤ オンライン New Face Party

新型コロナウイルス感染拡大により友達づくりを十分に行えなかった2020年度入学生にむけて、友達づくりのきっかけをつくり対面授業開始後に円滑に友好関係を築いてもらうことを目的としてZoomを用いて交流企画を行いました。

【成果】

参加者：40人

1年生は大学生活とくにサークル・部活について知ることができました。ただし、当日欠席をする1年生が20人ほどと多く、広報宣伝は課題となりました。

新学期での活動

新学期での活動は、通常期とは対象が異なり、「未来の組合員もしくは新入生」となります。「未来の組合員」とは、まだ富山大学生協の組合員ではなく、将来的に組合員になると思われる「受験生」のことを言います。

➤ Web オープンキャンパス

高校生に大学生の生の声を伝え、大学生活をイメージしてもらうことを目的として、Zoom でオンライン相談コーナーを設けました。また、オンライン上で製作した冊子や大学生活の説明会の動画を大学のWeb オープンキャンパスの公式ホームページ上で公開しました。

【成果】

オンライン相談コーナー参加者：20人 説明会申し込み：545人

相談を通して高校生が持つ不安や悩みを解消し大学生活をイメージしてもらうことができました。オンライン相談コーナーの宣伝方法や、動画・冊子のフィードバックの方法を考えることが課題として残りました。

➤ Campus Page2021

大学生活の情報を新入生に伝えて、新入生が新生活を始めるサポートをするために冊子を作成しました。履修など勉強に関することからアルバイトなど日常生活に関する多くの情報を記載しました。

【成果】

富山大学合格者に宛て、合格袋に入れて送付しました。また、新入生サポートセンターで希望者には配布し、状況に合わせてその場で冊子内容について説明、紹介も行いました。

➤ 受験生応援

受験生は受験期に様々な不安を抱えています。また、受験生だけでなく保護者も受験生とは異なった不安を持っています。それらの不安を出来るだけ解消して、試験に臨んでもらうことを目的として、富山駅や周辺ホテルにおいて試験前日と当日に応援冊子・カイロの配布や相談ブースでの対応を行いました。

【成果】

冊子配布数：409 カイロ配布数：726

受験生の人数がホテルごとに違い、冊子が渡せなかった場合もあったことが課題です。各ホテルや駅で受験生や保護者の相談にしっかりと対応できました。

➤ 富山大学生協による新生活準備説明会

新入生や保護者は新生活に対して様々な不安を持っています。それらの不安を解消し、富山大学でのよりよい新生活のスタートとなるようにオンラインで説明会を開きました。また、説明会と同じ内容の動画を新入生応援サイトにアップしました。

【成果】

参加者：162人

在学生の「先輩」としての生の声を新入生や保護者に届け、新生活のスタートの一助になることができました。サイトへの動画の見やすい掲載方法や動画自体の内容について説明会と変えるのかについては次年度への課題となります。

➤ New Face Party2021

新入生どうしが交流をして、友達づくりのきっかけをつくることを目的としてZoomで交流企画を行いました。新入生同士の交流を促す前半と、サークルブースでサークルと交流する後半に分けました。

【成果】

参加者：233人

オンラインながらも新入生どうしはもちろん、新入生とサークルも交流ができました。



➤ 生協オリエンテーション

新入生に生協を身近に感じてもらい、入学後生協のサービスを活用してもらえるように、大学と協力して行いました。キャンパスツアーを行い、生協店舗だけでなく学内施設の紹介もすることで新入生が不安なく大学生活を始められることにつながることができました。

➤ Web サポートプロジェクト

新学期イベントの情報発信や新入生からのお悩み相談などを行うWebサイトの運営を行いました。なやまんぞう（不安・悩みの受け答え掲示板）、とみみのみみ（新入生向けのイベント、大学生活に役立つ情報、合格体験記）などの更新も随時行いました。



連帯の活動についての報告

➤ 北陸エリア主催のセミナーへの参加

10月に行われた新入生セミナー、エリア学生委員会に積極的に参加しました。生協や他大学の事例を学び、活動への意欲を高めました。

➤ 全国環境セミナーへの参加

8月に開催された全国環境セミナーへ学生委員会から5名が参加し、環境について考え行動する意義を学びました。他大学で行われている環境活動の事例から、活動の基になる考え方や思いを学び、今後の環境活動に取り組む意識を高めました。

➤ 関西北陸ブロック主催のセミナーへの参加

6月に開催された関西北陸ブロック内でのキックオフセミナーへ9名の学生が参加し、多くの新学期活動の事例に触れ19年度の新学期活動の振り返り、20年度に向けての課題を考えました。また、10月のブロックフェスティバル、11月のブロックセミナーに参加し、他大学生協の事例を学びました。

➤ 全国共済セミナーへの参加

9月に開催された全国共済セミナーへ学生委員会から8名の学生が参加しました。セミナーでは、共済の価値や魅力を深め、それを広める意識と全国の活動実践から今後どういった活動を行っていけば良いか考えました。

➤ 組合員活動研修セミナーへの参加

2月に開催された組合員活動研修セミナーに4名の学生が参加し、共同組合の理念や価値を学び、大学生協のコミュニティ作りに参加することの大切さを学びました。

その他の活動

➤ 学生委員会夏合宿 2020

学生委員会の活動をするうえで必要なノウハウや、生協・共済などの知識を学びました。また、後期から本格的に始まる新学期活動に備えて、活動の目的を考え意欲を高める学習会を行いました。

2020年度 損失処理案

単位：円

項目	金額
I 当期末処理損失金	141,019,651
II 次期繰越損失金	141,019,651

- (1) 当期末処理損失金は、141,019,651円です。
- (2) 当期損失金のため、教育事業等繰越金は含んでいません。

上記の通り損失金処理案を提案いたします。

2021年5月26日
代表理事 理事長 横畑 泰志

この議案について承認議決された事項につき、官庁などへの届け出については、本通常総代会の決議の趣旨に反しない範囲で字句の修正などを行うことを理事会に一任願います。

監査報告書

私たち監事は、2020年3月1日から2021年2月28日までの2020年度の理事の職務の執行を監査いたしました。その方法及び結果につき以下のとおり報告いたします。

1 監査の方法及びその内容

監事会は、監査の方針、各監事から監査の実施状況及び結果について報告を受けるほか、理事等からその職務の執行状況について報告を受け、必要に応じて説明を求めました。

各監事は、監事会の定めた監査の基準に準拠して、他の監事と意思疎通および情報交換を図るほか、監査方針等に従い、理事、その他の職員等と意思疎通を図り、情報の収集及び監査の環境の整備に努めるとともに、理事会その他重要な会議に出席し、理事及び職員等からその職務の執行状況について報告を受け、必要に応じて説明を求め、重要な決裁書類等を閲覧し、本部及び主要な事業所において業務及び財産の状況を調査いたしました。

子会社等については、子会社等の取締役及び監査役等と意思疎通及び情報の交換を図り、必要に応じて子会社等から事業の報告を受けました。以上の方法に基づき、当該事業年度に係る事業報告書及びその附属明細書について検討いたしました。

さらに、会計帳簿又はこれに関する資料の調査を行い、当該事業年度に係る決算関係書類（貸借対照表、損益計算書、損失処理案）及びその附属明細書について検討いたしました。

2 監査の結果

(1) 事業報告書等の監査結果

一 事業報告書及びその附属明細書は、法令及び定款に従い、組合の状況を正しく示しているものと認めます。

二 理事の職務の執行に関する不正の行為又は法令もしくは定款に違反する重大な事実は認められません。

(2) 決算関係書類（損失処理案を除く）及びその附属明細書の監査結果

決算関係書類（損失処理案を除く）及びその附属明細書は、組合の財産及び損益の状況をすべての重要な点において適正に表示しているものと認めます。

(3) 損失処理案の監査結果

損失処理案は法令及び定款に適合し、かつ、組合財産の状況その他の事情に照らして指摘すべき事項は認められません。

2021年4月15日

富山大学生活協同組合

特定監事

森嶋 秀紀



監 事

林 衛



監 事

神山 智美



監 事

多田 直人



監 事

中西 佑奈



第2号議案

2021年度事業計画及び予算決定の件

2021年度は以下の柱を重点に取り組みます。

(1) 新型コロナウイルス感染の影響が継続する前提で、引き続き経営存続（富山大生協の灯を消さない）を最重点課題と位置づけ、債務超過を回避し、21年度は当期剰余での単年度黒字化を実現します。

1) 基本姿勢と考慮すべきこと

- 21年度も20年度後期と同様、原則対面としながらもハイブリッドが残る状況下での授業となります。ただし、大学の動向・学内人口の動向の注視しながら、事業運営します。
- 20年度末の累積欠損金の関係で21年度の赤字は即債務超過につながるといった現状の経営状態を生協全体で正しく理解し、コロナ禍による行動様式の変容、大学教育・運営の変容を見極めた事業活動の適正化と拡大を進めていく必要があります。
- 「存続」のために「①存続のために今の危機を乗り越えるため何をするべきか」といった今の視点」と「②今後も存続し続けることができるために何をすべきか」といった将来的な視点」の2つの視点を大切し運営にあたります。

2) 食・学び・公費・新学期を事業の重点と位置づけ、重点的な体制の構築と事業推進を図ります。

- 21年度も原則対面授業の中で、学生・教職員への利用拡大を目指し、食堂・食品・文具・日用雑貨で19年度実績比85%までの回復を目指す努力を惜しまず実践していきます。
- 既存事業（店舗）については、サービスレベルの低下を最小限にする努力をしながら、効率の良い運営と収益性を高めるため、学内人口や時間帯を考慮した業態変更（テイクアウトなども視野に入れた商品・食事提供方法の変更）も検討し、実施します。
 - ・学内の利用状況の変化を見極めながら、特に赤字構造となっている店舗の業態や事業の適正化を検討し実施します。（例 食堂での時間帯の客数に応じた業態変更など）
 - ・AZAMIの改善・有効活用をすすめます。20年度から立ち上げた職員・学生との改革タスクを中心にコンセプトの再設定と事業構造の改革、および「場」としての提供のあり方の見直しを行い、取り組みます。
- 伸長の可能性がある公費対応については体制の強化を図ります
- 加えて、コロナ禍での学生・教職員への新たな商品・食・サービス提供に挑戦していきます。学内に来ない学生へのサービスへの具体化を行います。

- ▶ あらゆる「学び」分野を事業対象とし、事業強化を図ります。
 - ・オンライン授業が今後も継続することを前提とし、パソコン講習会やセットアップ講習会などの従来の講義商品のブラッシュアップを行います。
 - ・大学講義、キャリアアップ、留学、就職支援など様々な学生の学びの事業の開発と見直しを進め、今の学生に必要な経験の場を提供できるコンテンツを強化します。
- ▶ 新学期事業の目標必達にこだわります。
 - ・21年度新入生からマイパソコンの購入推奨を大学が行い、推奨スペックを満たした教材パソコンとして大学生協パソコンを提供します。オンライン授業が継続する意味でもパソコン環境（ネット環境も）は必要であることから、勉学・生活提案を交えての販売強化をします。
 - ・また、パソコン利用の高まりの中で、「大学の中にある生協」でのパソコン購入のメリットとしての学生サポート体制の強化を検討し実施します。
 - ・前年、ホルダー数が減少したミールチャージは、2021年度新入生数の70%を目標設定し、提案していきます

3) 生協店舗で、With コロナの中でも安心できる利用環境の維持と、積極的な利用促進を行います。

- ▶ 生協全体で、引き続き新型コロナウイルス感染予防対策を徹底します。
- ▶ 営業体制・時間は、原則20年度後期の状態を継続しますが、食・商品・サービスの提供維持のため最低限の店舗機能を維持しながら、コロナの状況と大学の状況を考慮した営業時間の変更を大学と相談しながら進めます。
- ▶ 組合員が生協の利用メリットを実感・体験できるようにIC学生証・IC職員証も活用も含めた生協企画を年間計画化し、「早期化・総合化」をキーワードとして、学生委員会とも連携しながら生協全体で利用促進を強化します。
- ▶ 上記利用促進をより推進していくために、広報宣伝をさらに強化します。今年度からLINEによる情報発信を開始し、他のSNS媒体やホームページを駆使して、学生・教職員に伝えきることにこだわります。

4) 事業経費は引き続き抑制します。最小限の経費と最大限の工夫で、最大限の効果上げるために何ができるかを真剣に考え、事業活動を進めます。

- ▶ 19年度実績の15~20%削減を目標とします。
- ▶ 大口事業経費執行は引き続き控えますが、事業の継続のため必要な経費は執行していきます。

5) 理事会・生協職員・学生委員とで、2022年～24年の中期3か年計画を21年度前半で議論を重ね策定します。

- 経営改善計画の具体化と With コロナ・After コロナを踏まえた新しい生活・大学様式の中での富山大生協のあり方を理事会・部内・学生委員会で活発に議論し深めていきます。
- 3か年計画では①経営改善計画の具体化、②今後3年間の大学運営や生活様式の変容を踏まえた生協の在り方（事業活動・組織活動）、③そのための事業・サービス・活動・人員体制の在り方などをまとめていきます。

(2) 自己資本金の強化を図ります。

- 学生・院生・教員・職員の各階層の生協加入を進めます。特に、教職員・大学職員の生協加入促進を強化します。
- 2021年度新入生の生協加入を100%、共済加入を70%と目標にし、新学期中心に加入促進と未加入者対策を計画的に行いながら、生協活動の輪、助け合いの輪を広げていきます。

(3) 大学や学生委員会と連携して、コロナ禍での学生・教職員の实態・ニーズ・生協に求めていることを把握する活動を強化します。得られた実態・ニーズから生協として何ができるかを考え、生協事業の見直しや新規事業に活かし、組合員が生協を利用・参加するメリットを強めます。

- 生協の事業・サービスが本当の意味で学生・教職員の生活実態・ニーズに即したものになっていたかを見つめ直し、改めてコロナ禍での学生・教職員の实態・ニーズを掘り起こす取り組みを強化します。
 - ・各キャンパスや学部での利用者懇談会の実施。
 - ・大学や学生委員会と協力しての組合員（学生・教職員）アンケートの実施。
 - ・学生生活実態調査・新入生保護者アンケートの継続。
- 上記実施結果を含め、組合員のニーズや声を理事会・部内・学生委員会と共有し、分析し深めていきます。

(4) 大学との関係強化を継続し、生協と大学との情報共有と理解を深めます。

- 学長・事務局長・学務部長・学生支援課長との懇談会を定例化し、生協の経営状況や要望、大学の情報や要望を共有し関係を強化していきます。
- 学生や教職員に生協に関する案内の情報を引き続き大学からも発信していただけるよう依頼をしていきます。

(5) 環境問題を引き続き取り組みます。

- 21年度は学生委員会と協力し既存の環境活動（再発見私たちの街、海岸クリーン作戦、レジ袋有料化、間伐材割りばし、デポジット弁）の組合員への周知徹底を図り、組合員参加を拡げる取り組みを推進していきます。
- 食堂の下水問題は継続して取り組みます。
- 内部環境監査・環境塾など大学の環境の取り組みに引き続き協力します。

(6) 経営改善を進め、今後も継続できる組織であるための効果的な再編を検討し実施します。 また生協職員（特に正規職員）には働き方・意識変容を求め、難局を乗り越えていける組織体質を構築します。

- 経営改善を前進させるため、改めて各職員の役割と責任を明確にし、今まで以上に円滑なコミュニケーションが取れる組織づくりに着手します。
- 正規職員と目標設定面接を実施し、各自の業務目標・個人的なスキルアップの目標を明確にし、モチベーションアップに努めます。
- 新卒・若手職員の人材育成を事業連合・連合会と協力しながら人材協力を進めます。また若手店長層のスキルアップも推進していきます。
- 中長期的に退職等の人員変更の発生を踏まえ、将来的・効果的な人員配置を検討し実施します。また事業に必要な資格取得を推進します。
- 職場会議や朝礼、研修などでパート職員のスキルアップを図り、従業員満足度を高めていきます。
- 生協職員の安全な労働環境の実現に継続して強化していきます

(7) その他の課題

- 大学（留学支援課）と留学生と連携しハラル対応を検討します。
- 東日本大震災から10年のメモリアルな年
 - ・大学との災害時協定の締結を進めます
 - ・組合員の防災意識向上の取り組みを学生委員会と協力し実施します。

2021 年度予算

(単位 千円)

科 目 名	富山大学生協2021年度全体予算 (単位千円)							コメント
	19実績	20予算	20実績	21予算	19比	20予比	20比	
供 給 高	1,607,005	1,534,293	1,150,838	1,349,388	▲16.0%	▲12.1%	17.3%	食堂は19年度比80%回復、ショップは85%回復で試算
供 給 値 引 き	6,454	0	6,381	0	▲100.0%	#DIV/0!	▲100.0%	
供 給 剩 余 金	425,557	418,353	265,414	361,491	▲15.1%	▲13.6%	36.2%	供給剰余率は19年実績並みの回復想定
共 済 受 託 手 数 料 収 入	9,623	9,905	9,723	9,750	1.3%	▲1.6%	0.3%	
教 育 文 化 事 業 収 入	8	0	0	0	▲100.0%	#DIV/0!	#DIV/0!	
供 給 事 業 手 数 料 収 入	5,063	5,057	10,776	2,847	▲43.8%	▲43.7%	▲73.6%	
不 動 産 賃 貸 収 入	0	0	0	0	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	
そ の 他 手 数 料 収 入	27,033	36,172	22,678	38,364	41.9%	6.1%	69.2%	
そ の 他 の 事 業 収 入 計	41,727	51,134	43,178	50,961	22.1%	▲0.3%	18.0%	
事 業 総 剩 余 金	467,284	469,487	308,591	412,452	▲11.7%	▲12.1%	33.7%	
役 員 報 酬	10,114	10,035	9,851	9,452	▲6.5%	▲5.8%	▲4.0%	
職 員 給 与	39,526	46,924	36,172	36,229	▲8.3%	▲22.8%	0.2%	賞与は20年度実績で予算化
定 時 職 員 給 与	162,251	167,046	134,835	144,911	▲10.7%	▲13.3%	7.5%	10月から最低賃金アップで予算化 (20円)
退 職 給 付 費 用	3,210	3,070	3,446	3,282	2.2%	6.9%	▲4.8%	
法 定 福 利 費	15,827	16,128	15,524	16,043	1.4%	▲0.5%	3.3%	
厚 生 費	4,051	3,828	2,671	4,173	3.0%	9.0%	56.3%	
役 員 退 職 引 当 金 繰 入	705	670	595	670	▲4.9%	0.0%	12.5%	
賞 与 引 当 金 繰 入	3,522	4,088	2,489	2,500	▲29.0%	▲38.8%	0.4%	
派 遣 人 件 費	0	0	0	0	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	
人 件 費 合 計	239,206	251,789	205,584	217,260	▲9.2%	▲13.7%	5.7%	
教 育 文 化 費	3,171	3,879	511	1,750	▲44.8%	▲54.9%	242.5%	学生委員会活動が一定戻る前提での予算化
広 報 費	36,069	34,311	25,190	32,706	▲9.3%	▲4.7%	29.8%	
消 耗 品 費	25,195	27,251	24,821	25,761	2.2%	▲5.5%	3.8%	
物 流 費	0	0	0	0	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	
車 輦 運 搬 費	3,377	3,256	3,141	3,659	8.4%	12.4%	16.5%	除雪機1台購入計上
貸 倒 引 当 金 繰 入 額	55	0	80	0	▲100.0%	#DIV/0!	▲100.0%	
施 設 維 持 管 理 費	12,977	11,782	10,643	11,153	▲14.1%	▲5.3%	4.8%	
減 価 償 却 費	17,774	13,888	14,164	13,032	▲26.7%	▲6.2%	▲8.0%	
賃 借 料	4,889	3,534	4,857	4,590	▲6.1%	29.9%	▲5.5%	
水 道 光 熱 費	28,174	29,369	22,907	26,539	▲5.8%	▲9.6%	15.9%	
保 険 料	559	516	508	459	▲17.9%	▲11.0%	▲9.6%	
委 託 料	24,656	23,395	24,095	25,159	2.0%	7.5%	4.4%	
研 修 採 用 費	1,550	1,792	606	631	▲59.3%	▲64.8%	4.1%	
調 査 研 究 費	505	784	383	201	▲60.2%	▲74.4%	▲47.6%	
会 議 費	2,055	2,863	271	1,447	▲29.6%	▲49.5%	433.5%	一定 対面等の会議再開を想定
諸 会 費	6,161	6,365	6,133	6,342	2.9%	▲0.4%	3.4%	
渉 外 費	316	294	110	0	▲100.0%	▲100.0%	▲100.0%	
租 税 公 課	686	842	710	998	45.4%	18.5%	40.7%	
通 信 交 通 費	6,001	6,975	5,622	6,847	14.1%	▲1.8%	21.8%	
雑 費	12,652	13,511	9,202	12,757	0.8%	▲5.6%	38.6%	
事 業 連 合 委 託 費	32,784	32,860	32,860	29,293	▲10.6%	▲10.9%	▲10.9%	
物 件 費 合 計	219,607	217,467	186,812	203,324	▲7.4%	▲6.5%	8.8%	
事 業 経 費 合 計	458,813	469,256	392,396	420,584	▲8.3%	▲10.4%	7.2%	
事 業 剩 余 金	8,471	231	▲83,805	▲8,132	▲196.0%	▲3,620.3%	▲90.3%	
事 業 外 収 益	24,443	19,050	35,873	9,183	▲62.4%	▲51.8%	▲74.4%	
事 業 外 費 用	18,202	16,762	9,012	421	▲97.7%	▲97.5%	▲95.3%	
経 常 剩 余 金	14,712	2,519	▲56,944	630	▲95.7%	▲75.0%	▲101.1%	
特 別 利 益	2,638	0	27,139	0	▲100.0%	#DIV/0!	▲100.0%	
特 別 損 失	545	0	81	0	▲100.0%	#DIV/0!	▲100.0%	
当 期 剩 余 金	16,029	2,519	▲30,662	630	▲96.1%	▲75.0%	▲102.1%	

2021 年度 学生委員会の活動ビジョン及び重点課題

工学部 2 年 舘 弘行

■ビジョン■

「組合員が思いきり大学生活を楽しむ」

経緯：昨年度はコロナウイルスの感染拡大により、オンライン形式での活動が増加しました。その結果、昨年度のビジョンで目指された「組合員がやりたいことを実行する」ことが難しい環境となりました。組合員それぞれがもつ意欲を行動に移す、やりたいことを見つけるために、組合員が大学生活に楽しみを感じられることが大切です。組合員一人一人が思うように楽しい生活ができることを目指します。また、組合員が楽しめる様々な企画を行っていきます。以上の理由から上記ビジョンを提案いたします。

■重点課題■

「組合員のニーズ、現状に合った情報を届ける」

経緯：昨年度、コロナウイルスの感染拡大や大雪により組合員の生活は著しく変化しました。今後も組合員の生活が変化することが考えられます。それらの変化に応じて組合員が必要とする情報を提供し、組合員が安心して大学生活を楽しめるようにします。また、組合員の現状を細かく知るために情報収集も徹底して行います。

企画例：ひとことカードの取り組み、七夕企画、SNS による広報活動 など

「組合員が社会的課題を考える機会を増やす」

経緯：組合員の生活には環境問題や平和などの社会的課題が関係します。組合員が楽しく大学生活を送るためにも組合員自身が社会的課題に目をむけ、身近なものからでも取り組むことが必要です。今年度は東日本大震災から 10 年であるということも含め、組合員が防災や環境問題などの社会的課題を考えられるように活動いたします。とくに学生組合員の学びに繋がるようにします。

企画例：再発見わたしたちの街、東日本大震災メモリアル企画 など

「組合員同士の交流を増やす」

経緯：組合員が楽しく過ごすためにも人との繋がりをもっていることは必要です。組合員同士の繋がりは、不安を相談してなくすことや学びを深めることにもつながります。そのため、新入生同士はもちろん、在学生同士の交流の機会を増やし、組合員が学内で楽しく大学生活を送れるようにします。

企画例：New Face Party、プレ総代会 など

以上

この議案について承認議決された事項につき、官庁などへの届け出については、本通常総代会の決議の趣旨に反しない範囲で字句の修正などを行うことを理事会に一任願います。

第3号議案

定款一部改正の件

以下のとおり、定款を改正いたします。

1. 改正の内容

改正案	現行条文
(役員の責任) 第23条 1～9 (略) 10 (略) (1) 理事次に掲げる行為 イ 法第31条の9 第1項及び第2項の規定により作成すべきものに記載し、(略) ロ～ハ (略) 11 (略)	(役員の責任) 第23条 1～9 (略) 10 (略) (1) 理事次に掲げる行為 イ 法第31条の7 第1項及び第2項の規定により作成すべきものに記載し、(略) ロ～ハ (略) 11 (略)

2. 改正の理由

会社法が改正されたことに伴い、消費生活協同組合法の改正及び条番号の整備変更が行われ、2021年3月1日に施行されました。これにより、「決算関係書類等の作成等にかかる規定」である法「第31条の7」が「第31条の9」に変更されました。当組合の定款で当該条番号を引用しているため、法令条番号の変更に合わせて変更いたします。

この議案について承認議決された事項につき、官庁などへの届け出については、本通常総代会の決議の趣旨に反しない範囲で字句の修正などを行うことを理事会に一任願います。

第4号議案

役員報酬決定の件

役員の間年報酬について、下記の総額の範囲内で理事会が定める役員報酬規則、に基づいて支給すること、及び、各役員の間報酬額、支給方法などについては、理事に関しては理事会に、監事に関しては監事の協議に委ねることを決定します。

(1) 理事の間報酬 (22名) 総額 20,000,000円

このなかには、現専務理事 松本明男 (2019年5月から代表理事、専務理事) が次期通常総代会までに退任した場合に支払う可能性のある退職金 (3,000,000円を上限とする) を含みます。

(2) 監事の間報酬 (6名) 総額 250,000円

※退職金である役員報酬については、議決事項としております。これは、退職金は役員報酬であり、任期満了あるいは任期途中で辞任などがあつた場合、次期の間総代会の間議決を得ない限り報酬を支払えないためです。実際に辞任がなかつた場合には支払われません。

この議案について承認議決された事項につき、官庁などへの届け出については、本通常総代会の間決議の趣旨に反しない範囲で字句の間修正などを行うことを理事会に一任願います。

第5号議案

2021年度役員選出の件

定款第19条（役員選挙）に基づき、役員選出を行います。

- ◎ 投票は本総代会の中で行います。
- ◎ 立候補者が定員以内の場合は、信任投票となります。
- ◎ 信任投票の場合、役員選挙規約第15条第5項に基づき、議長の判断で選挙を省略する場合があります。

この議案について承認議決された事項につき、官庁などへの届け出については、本通常総代会の決議の趣旨に反しない範囲で字句の修正などを行うことを理事会に一任願います。

富山大学生生活協同組合

 0120-31-4248

〒930-0887 富山県富山市五福3190

※当日、ご欠席予定の総代の方は生協総務部まで
ご連絡をお願いいたします。